Ⅱ　結果の詳細

２　質問紙調査

全国学力・学習状況調査結果チャート（６,７ページ参照）における各領域について，それぞれに該当する質問事項の中で顕著な特徴の見られるものを取り上げ分析した。さらに，「家庭学習の充実に向けて」「部活動（中学校）の状況について」「放課後の過ごし方について」「主体的・対話的で深い学びの充実に向けて」「外国に関する興味・関心について」「自己肯定感に関する状況について」「指導改善サイクルの確立を目指して」に関わる質問事項については，７２ページ以降に詳述した。主に平成２９年度調査結果を中心に，質問事項によって経年変化や回答結果と正答率の関連及び散布図を活用した。

※以下の「肯定的回答」とは，「当てはまる，どちらかといえば当てはまる」，「よく行った，どちらかといえば行った」など肯定的な選択肢を選択した割合の合計である。
※文中の，「同程度」は全国との差が 1.0 ポイントの範囲内，「やや高い，やや低い」は全国との差が 1.0～5.0 ポイントの範囲内，「高い，低い」は全国との差が 5.1～10.0 ポイントの範囲内，「著しく高い，著しく低い」は全国との差が 10.1 ポイント以上であることを表している。
※表中の，「全国との差」欄の，□は全国を下回ることを示しており，△は全国との差 5.1 ポイント以上，▼は全国との差 5.1 ポイント以下であることを示している。
※「散布図」は，各都道府県の肯定的回答の割合について，児童・小学校を横軸に，生徒・中学校を縦軸に対応させ，○印で示したものである。（■は千葉県，▲は全国平均を示している。）

（１）児童生徒質問紙調査

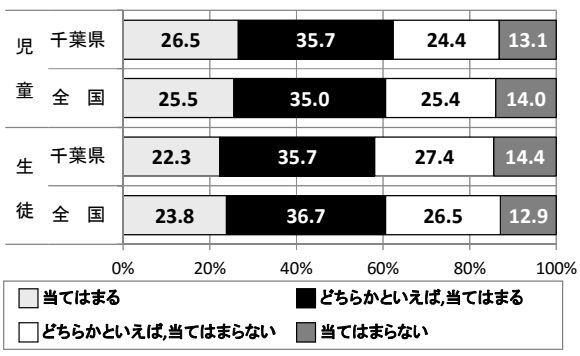
①　学習に対する関心・意欲・態度

ア　国語への関心等

質問番号		質問事項	児童（肯定的回答）		生徒（肯定的回答）	
児童	生徒		千葉（%）	全国との差	千葉（%）	全国との差
69	71	国語の勉強は好きですか	62.2	1.7	58.0	−2.5
70	72	国語の勉強は大切だと思いますか	90.2	−1.0	87.0	−1.8
71	73	国語の授業の内容はよく分かりますか	81.5	−0.7	70.9	−4.0
72	74	読書は好きですか	74.6	0.3	73.6	3.7
73	75	国語の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか	87.2	−0.7	80.9	−2.4
74	76	国語の授業で目的に応じて資料を読み，自分の考えを話したり，書いたりしていますか	66.8	−1.2	59.4	−3.3
75	77	国語の授業で意見などを発表するとき，うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	62.6	−0.8	53.0	−2.6
76	78	国語の授業で自分の考えを書くとき，考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	72.8	−2.0	63.5	−2.4

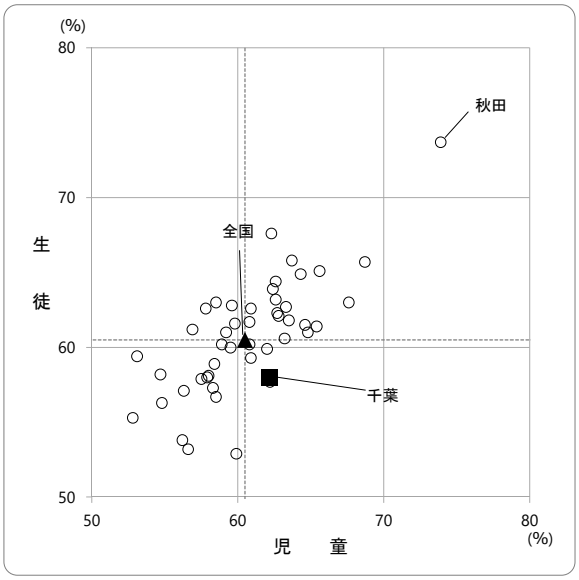
児 69 / 生 71　国語の勉強は好きですか

【平成２９年度調査結果】



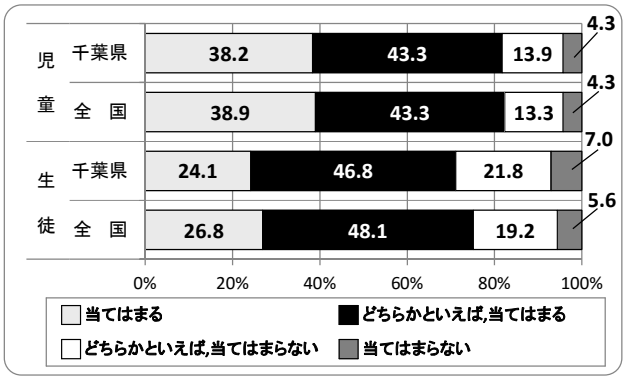
肯定的回答の割合は，児童は全国と比べてやや高く，生徒はやや低い。児童の国語への関心の高さは，継続して全国を上回っている。

【散布図】

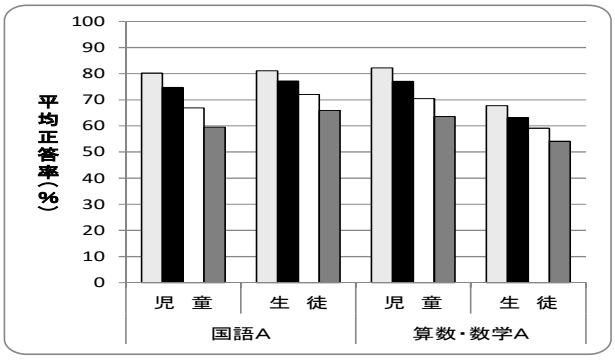


児 71 / 生 73　国語の授業の内容はよく分かりますか

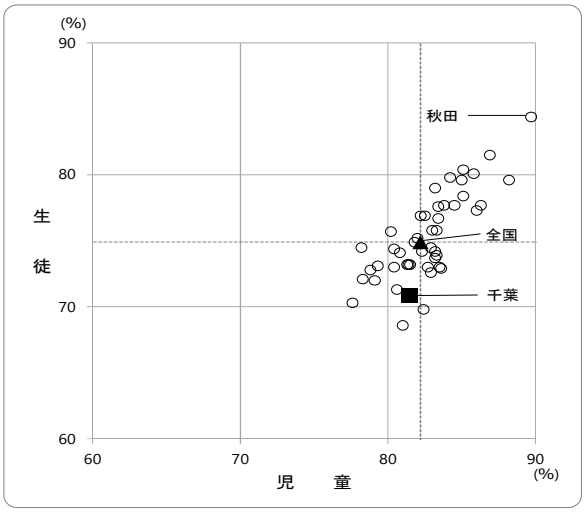
【平成２９年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



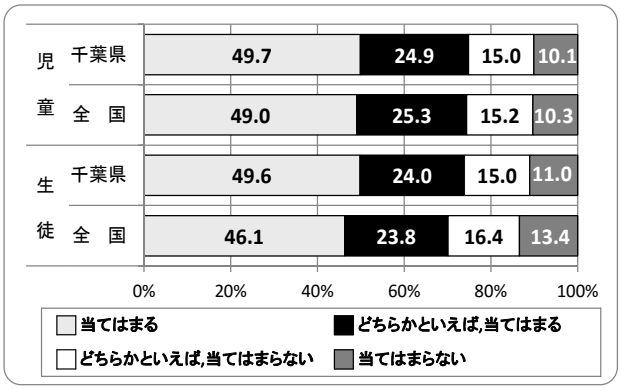
【散布図】



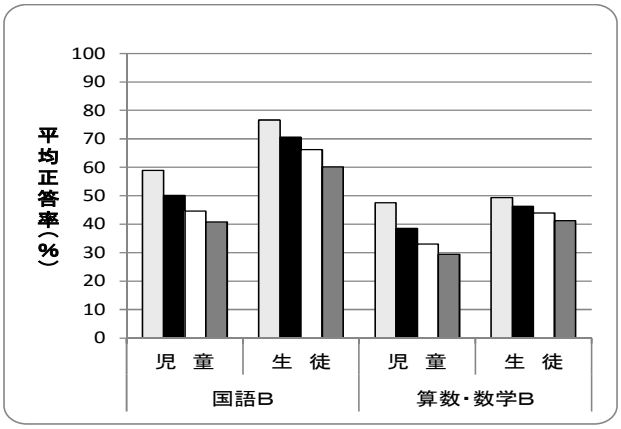
肯定的回答の割合は，児童は全国と比べて同程度であり，生徒はやや低い。「よく分かる」と回答した児童生徒ほど正答率が高く，児童にその傾向がより強く見られる。

児 72 / 生 74　読書は好きですか

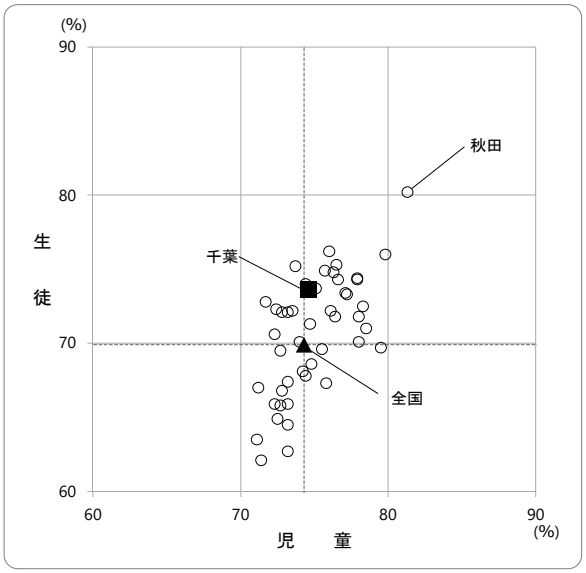
【平成２９年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



【散布図】



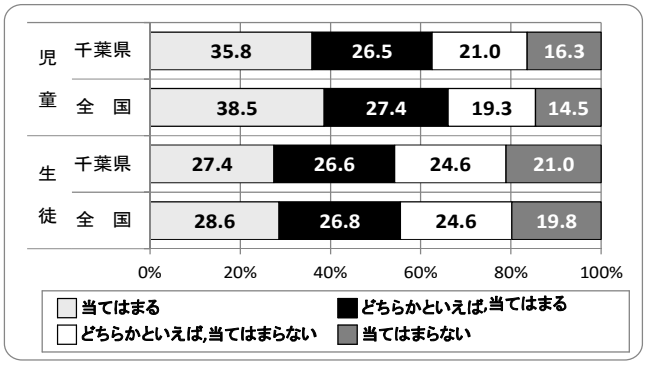
肯定的回答の割合は，児童は全国と比べて同程度であり，生徒はやや高い傾向が続いている。読書が好きな児童生徒ほど，正答率が高い傾向が見られる。

イ　算数・数学への関心等

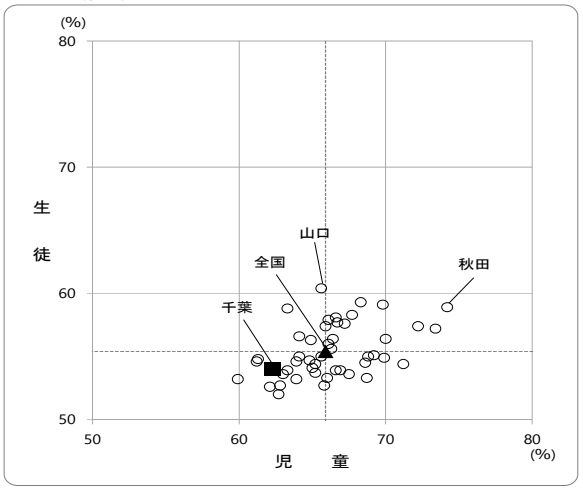
質問番号 児童	質問番号 生徒	質問事項	児童(肯定的回答) 千葉(%)	児童(肯定的回答) 全国との差	生徒(肯定的回答) 千葉(%)	生徒(肯定的回答) 全国との差
78	80	算数・数学の勉強は好きですか	62.3	−3.6	54.0	−1.4
79	81	算数・数学の勉強は大切だと思いますか	90.2	−1.8	78.5	−2.6
80	82	算数・数学の授業の内容はよく分かりますか	77.8	−2.8	65.7	−3.7
81	83	算数の授業で新しい問題に出合ったとき，それを解いてみたいと思いますか（小）／数学ができるようになりたいと思いますか（中）	72.8	−2.9	89.9	−1.3
82	84	算数・数学の問題の解き方が分からないときは，諦めずにいろいろな方法を考えますか	78.4	−2.7	71.2	−2.3
83	85	算数・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	68.4	−0.7	44.7	−0.6
84	86	算数・数学の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか	87.6	−1.5	69.2	−3.2
85	87	算数・数学の授業で問題を解くとき，もっと簡単に解く方法がないか考えますか	80.2	−1.2	70.1	−1.1
86	88	算数・数学の授業で公式やきまりを習うとき，そのわけ・根拠を理解するようにしていますか	81.5	−1.1	70.2	−1.9
87	89	算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	83.8	−2.2	80.5	−0.8

児 78 / 生 80　算数・数学の勉強は好きですか

【平成２９年度調査結果】



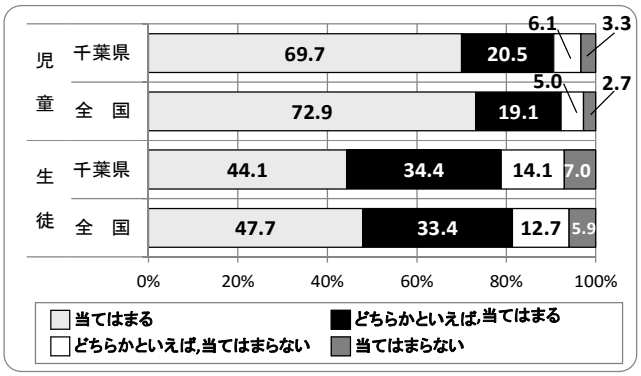
【散布図】



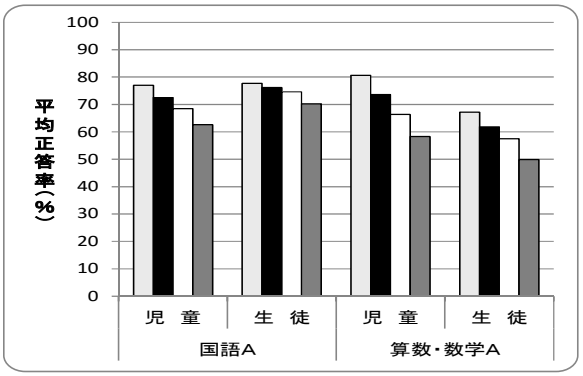
肯定的回答の割合は,児童生徒ともに全国と比べてやや低い。

児 79 / 生 81　算数・数学の勉強は大切だと思いますか

【平成２９年度調査結果】



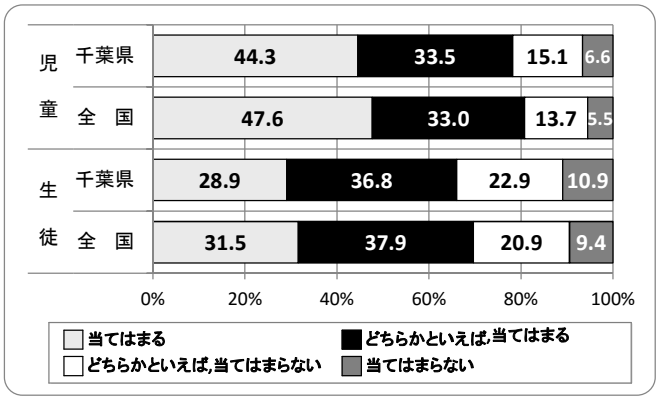
【回答結果と正答率の関連】



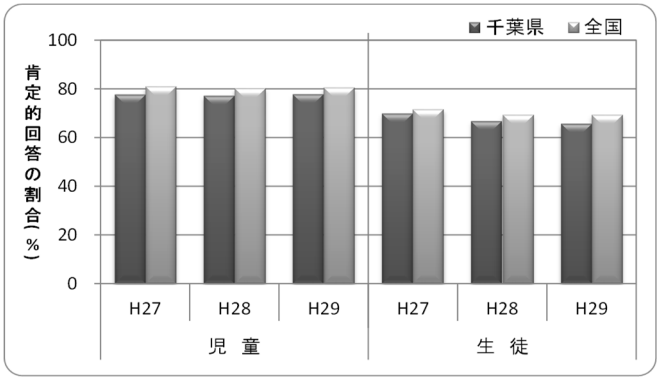
肯定的回答の割合は，児童生徒ともに全国と比べてやや低い。算数・数学の勉強は大切だと思っている児童生徒ほど正答率が高い傾向が見られる。

児 80 生 82	算数・数学の授業の内容はよく分かりますか

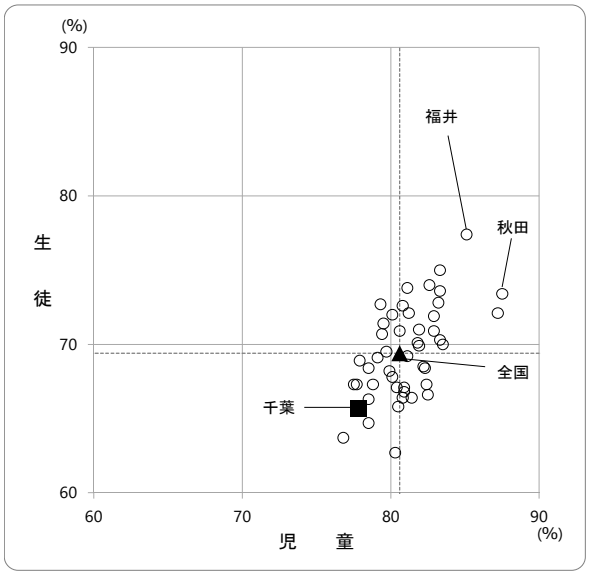
【平成２９年度調査結果】



【経年変化】



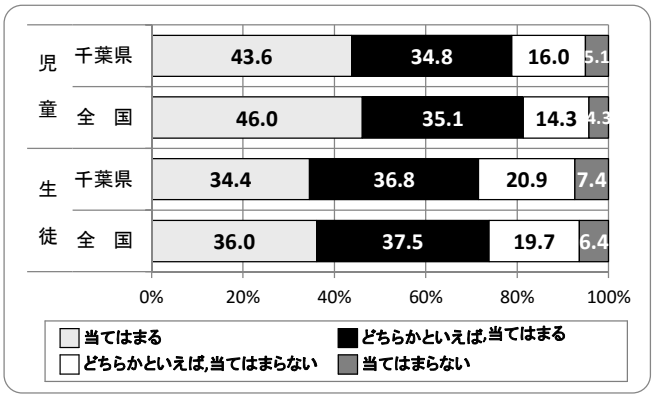
【散布図】



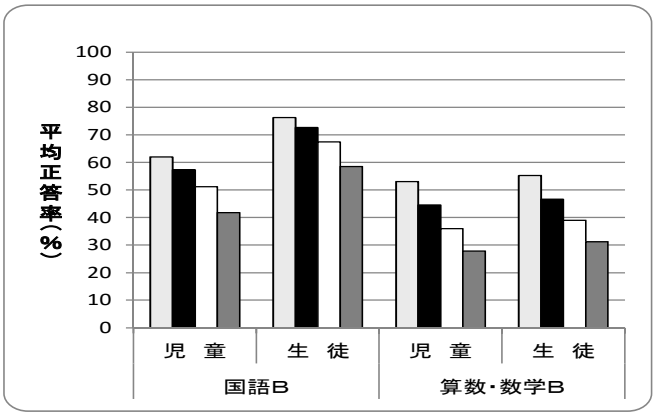
肯定的回答の割合について，児童は70%を超えているが，全国の中では下位に位置している。生徒は全国と比べてやや低い傾向が続いている。

児 82 生 84	算数・数学の問題の解き方が分からないときは，諦めずにいろいろな方法を考えますか

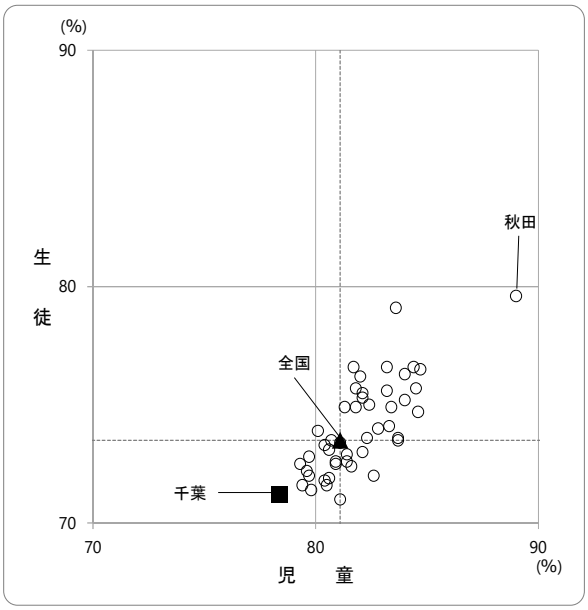
【平成２９年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



【散布図】



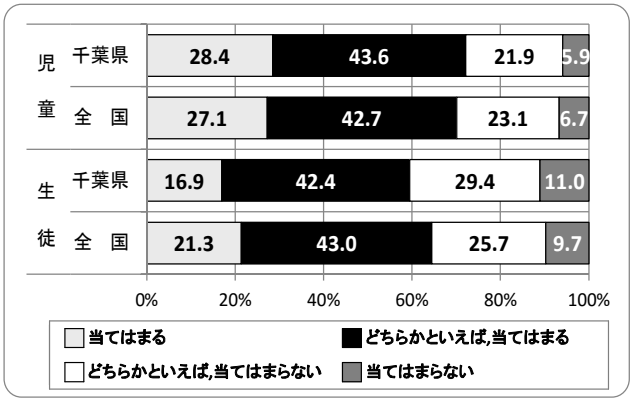
肯定的回答の割合は，児童生徒ともに全国と比べてやや低く，全国の中では下位に位置している。「Ｂ問題」の記述式では，肯定的回答をしている児童生徒ほど，正答率が高い傾向が見られる。

ウ　総合的な学習の時間への関心等

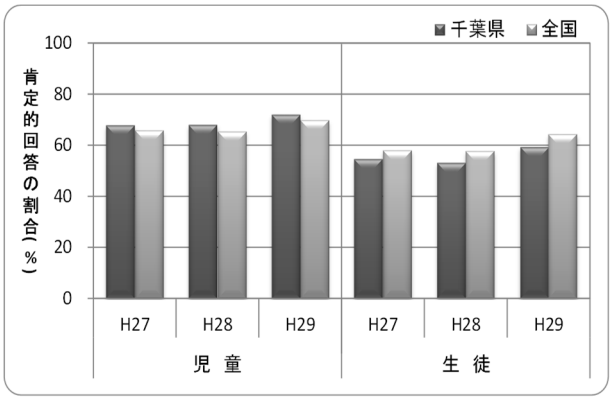
質問番号		質　問　事　項	児童(肯定的回答)		生徒(肯定的回答)	
児童	生徒		千葉(%)	全国との差	千葉(%)	全国との差
54	56	「総合的な学習の時間」では，自分で課題を立てて情報を集め整理して，調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	72.0	2.2	59.3	-5.0

児 54 生 56	「総合的な学習の時間」では，自分で課題を立てて情報を集め整理して，調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか

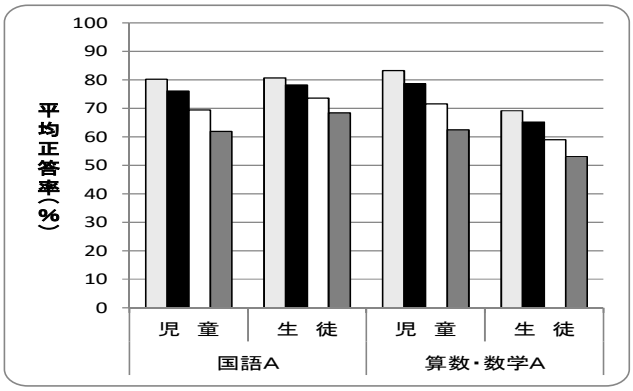
【平成２９年度調査結果】

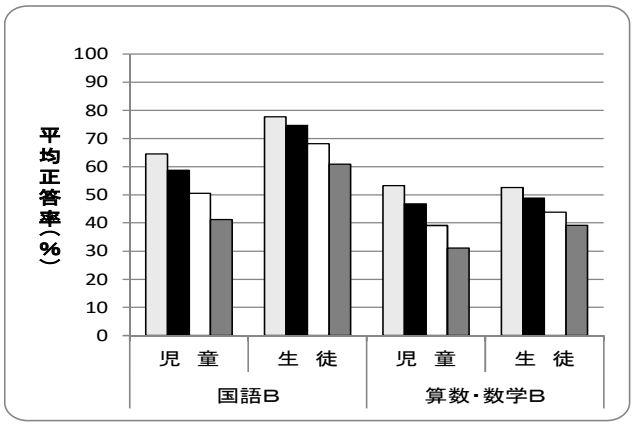


【経年変化】

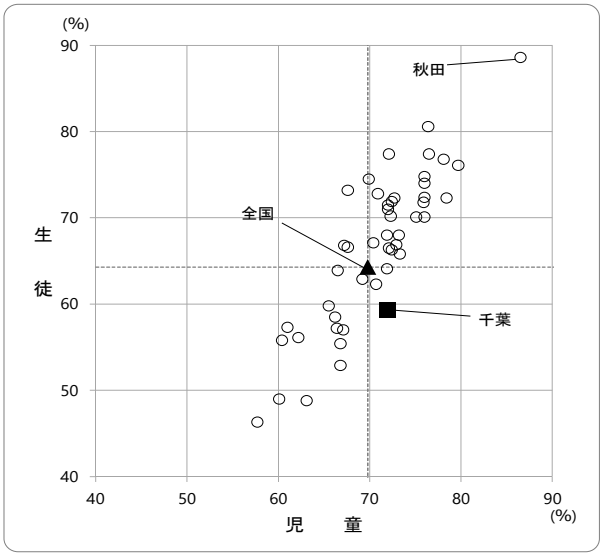


【回答結果と正答率の関連】





【散布図】



肯定的回答の割合は，児童は全国と比べてやや高く，生徒は全国と比べて低い。肯定的回答をしている児童生徒ほど「Ａ問題」「Ｂ問題」ともに，正答率が高い傾向が見られる。

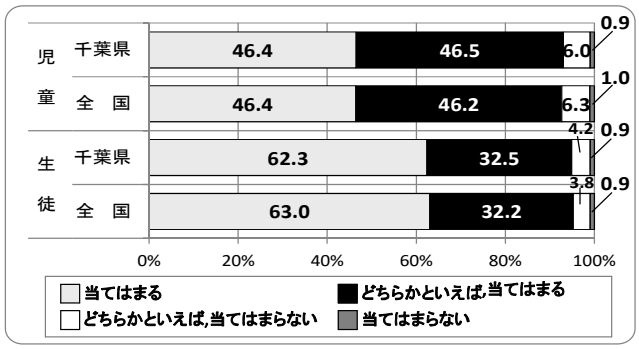
② 規範意識・自尊感情

ア 規範意識

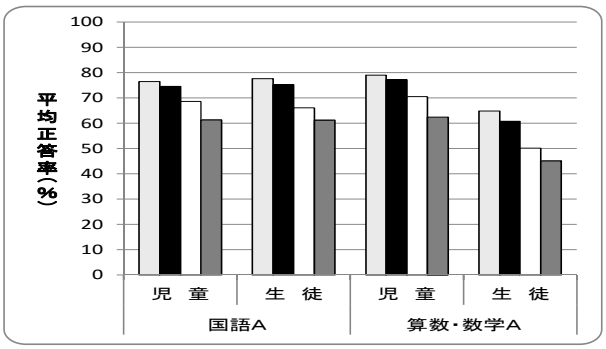
質問番号		質問事項	児童(肯定的回答)		生徒(肯定的回答)	
児童	生徒		千葉(%)	全国との差	千葉(%)	全国との差
49	51	学校のきまり・規則を守っていますか	92.9	0.3	94.8	−0.4
50	52	友達との約束を守っている	96.8	−0.4	97.0	−0.4
51	53	人が困っているときは，進んで助けている	85.4	0.1	84.6	0.2
52	54	いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思いますか	95.7	−0.4	91.7	−1.1
53	55	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	92.4	−0.1	90.7	−1.2

児 49 / 生 51　学校のきまり・規則を守っていますか

【平成２９年度調査結果】



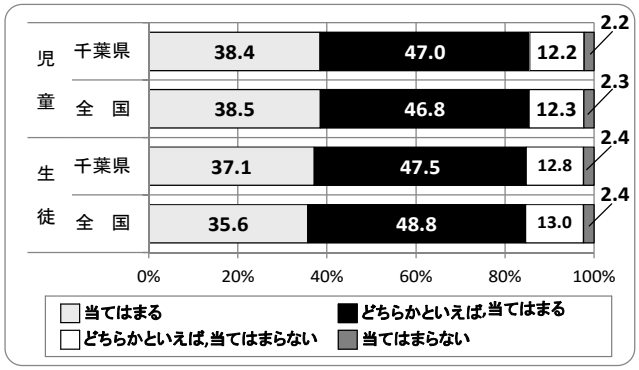
【回答結果と正答率の関連】



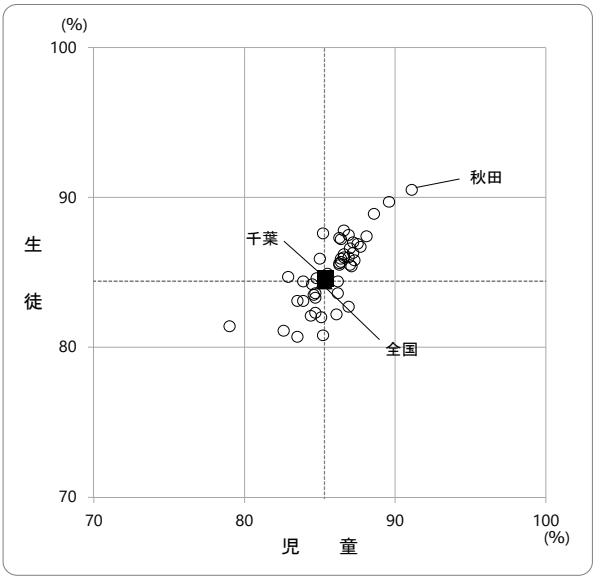
肯定的回答の割合は，児童生徒ともに 90%を超えており，全国と比べて同程度である。きまり・規則を守っている児童生徒ほど正答率が高い傾向が見られる。

児 51 / 生 53　人が困っているときは，進んで助けている

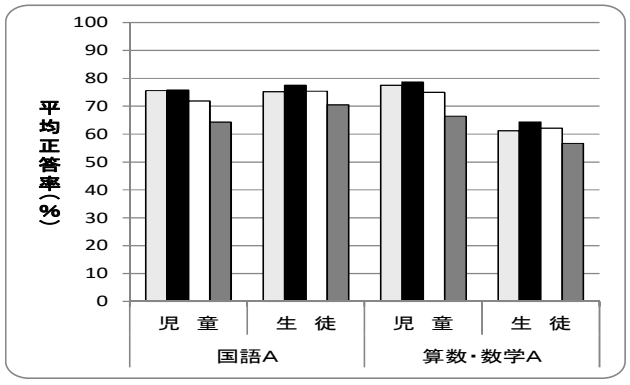
【平成２９年度調査結果】



【散布図】



【回答結果と正答率の関連】



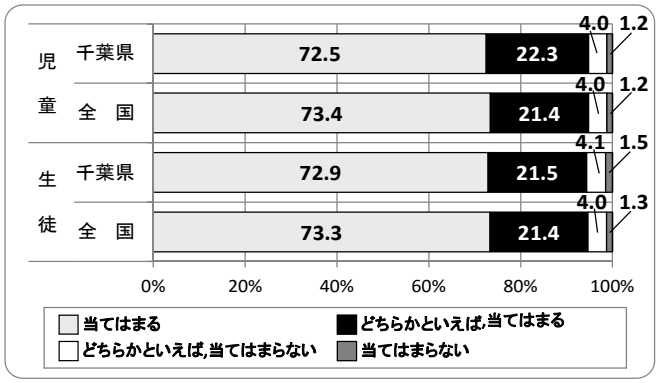
肯定的回答の割合は,児童生徒ともに80%を超えており,全国と比べて同程度である。

イ　自尊感情

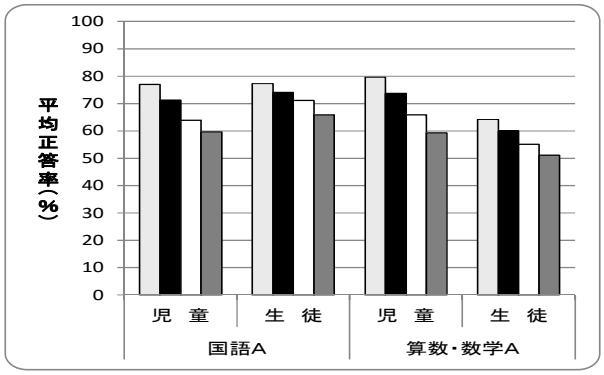
質問番号		質　問　事　項	児童(肯定的回答)		生徒(肯定的回答)	
児童	生徒		千葉(%)	全国との差	千葉(%)	全国との差
4	4	ものごとを最後までやり遂げて，うれしかったことがありますか	94.8	0.0	94.4	-0.3
5	5	難しいことでも，失敗を恐れないで挑戦していますか	76.3	-1.1	71.1	0.1
6	6	自分には，よいところがあると思いますか	77.0	-0.9	68.0	-2.7
10	10	将来の夢や目標を持っていますか	86.5	0.6	70.0	-0.5

4　ものごとを最後までやり遂げて，うれしかったことがありますか

【平成２９年度調査結果】



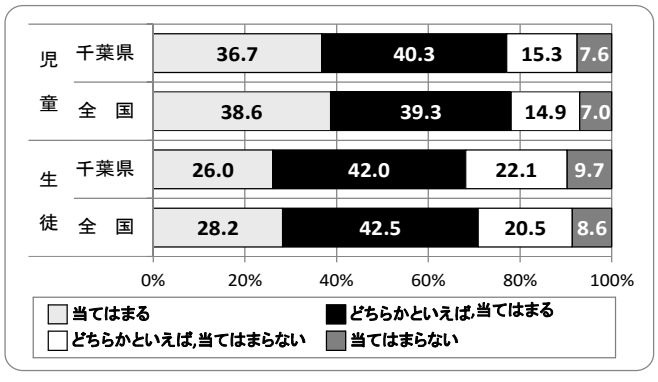
【回答結果と正答率の関連】



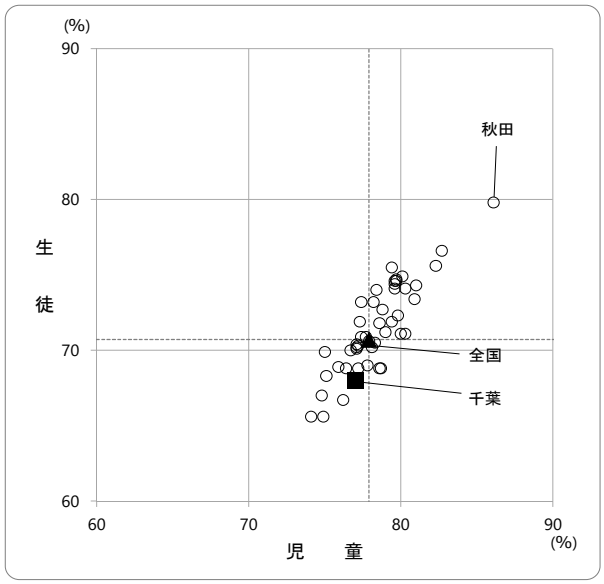
肯定的回答の割合は，児童生徒ともに 90%を超えており，全国と比べて同程度である。達成感を味わっている児童生徒ほど正答率が高い傾向が見られる。

6　自分には，よいところがあると思いますか

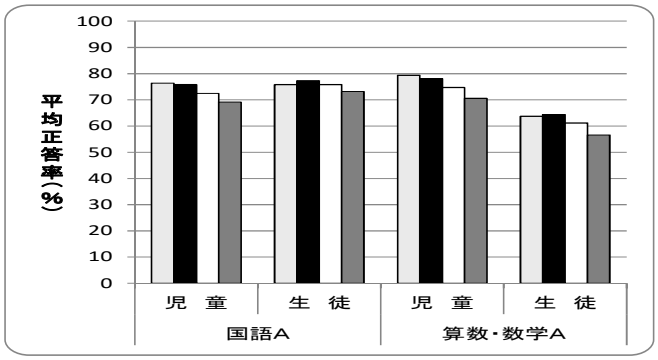
【平成２９年度調査結果】



【散布図】



【回答結果と正答率の関連】



肯定的回答の割合は，児童は全国と比べて同程度で,生徒はやや低い。自分のよさを認識している児童ほど正答率が高い傾向が見られる。

③　学習の基盤となる活動・習慣

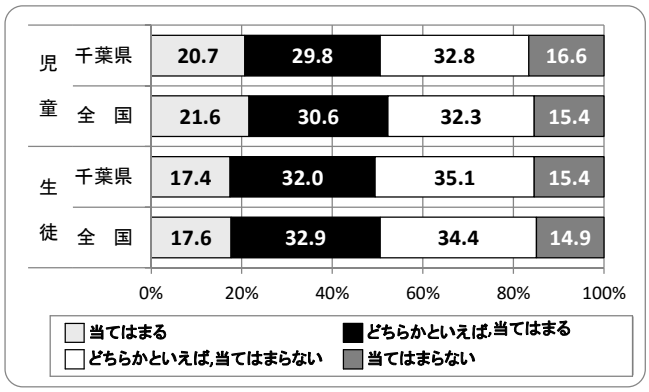
ア　言語活動・読解力

質問番号		質　問　事　項	児童(肯定的回答)		生徒(肯定的回答)	
児童	生徒		千葉(%)	全国との差	千葉(%)	全国との差
7	7	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	50.5	−1.7	49.4	−1.1
8	8	友達と話し合うとき，友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	94.0	−0.3	94.2	−0.4
9	9	友達と話し合うとき，友達の考えを受け止めて，自分の考えを持つことができますか	85.0	−0.5	88.1	−0.3
11	11	授業で学んだことを，ほかの学習や普段の生活に生かしていますか	82.7	−0.1	69.7	−1.2
36	38	学級では，学級会などの時間に友達同士で話し合って学級のきまりなどを決めていると思いますか	48.8	−1.5	39.8	−0.7
56	58	授業では，自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	82.6	−2.1	82.6	−1.8
57	59	授業では，学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	82.8	−1.7	79.8	−2.0
58	60	授業では，学級やグループの中で自分たちで課題を立てて，その解決に向けて情報を集め，話し合いながら整理して，発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	73.8	−1.3	69.2	−2.1
59	61	授業で，学級の友達〔生徒〕との間で話し合う内容を理解して，相手の考えを最後まで聞き，自分の考えをしっかり伝えていたと思いますか	77.0	−1.1	72.0	−1.5
60	62	授業で，自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう資料や文章，話しの組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか	64.7	−0.2	55.9	−2.0
64	66	道徳の時間では，自分の考えを深めたり，学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか	77.7	−0.8	75.4	−0.6
66	68	４００字詰め原稿用紙２～３枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	38.6	−1.7	37.6	0.3
67	69	学校の授業などで，自分の考えを他の人に説明したり，文章に書いたりすることは難しいと思いますか	45.6	−0.6	36.7	−0.3
68	70	学級の友達・生徒との間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていると思いますか	67.6	−0.6	63.0	−1.8

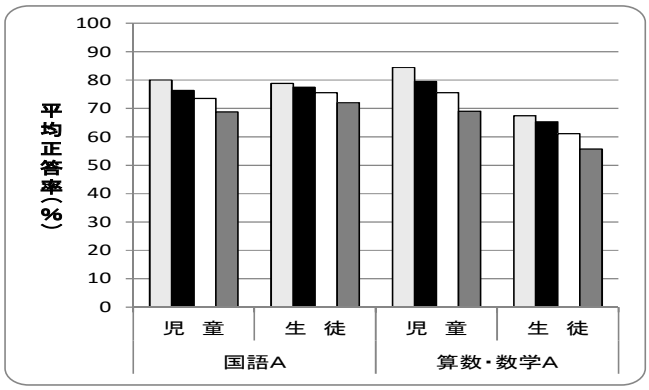
※66(児) 68(生)，67(児) 69(生) の「肯定的回答の割合」とは，「どちらかといえばそう思わない」，「そう思わない」と回答した割合の合計である。

7　友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか

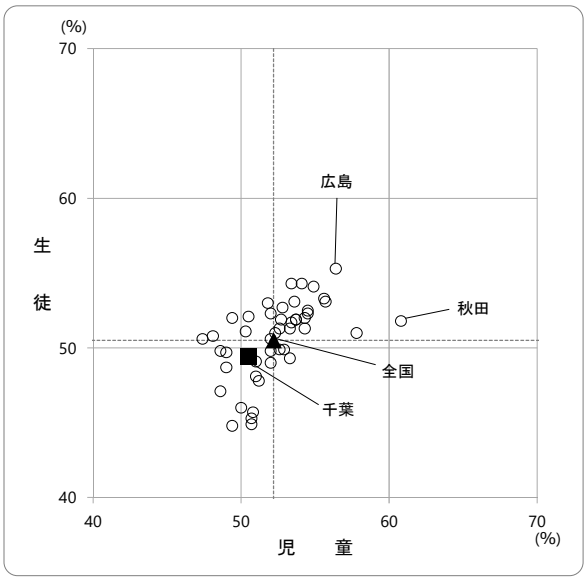
【平成２９年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



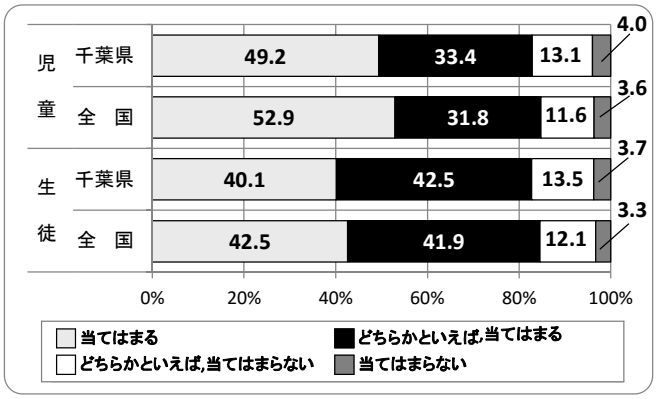
【散布図】



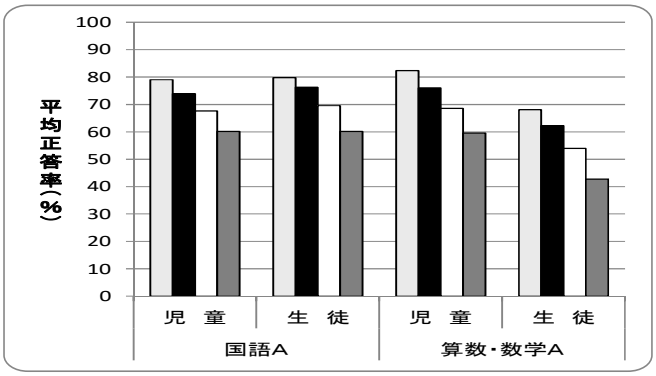
肯定的回答の割合は，児童生徒ともに全国と比べてやや低い。発表することを得意だと感じている児童生徒ほど正答率が高く，児童にその傾向がより強く見られる。

児 56 生 58	授業では，自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか

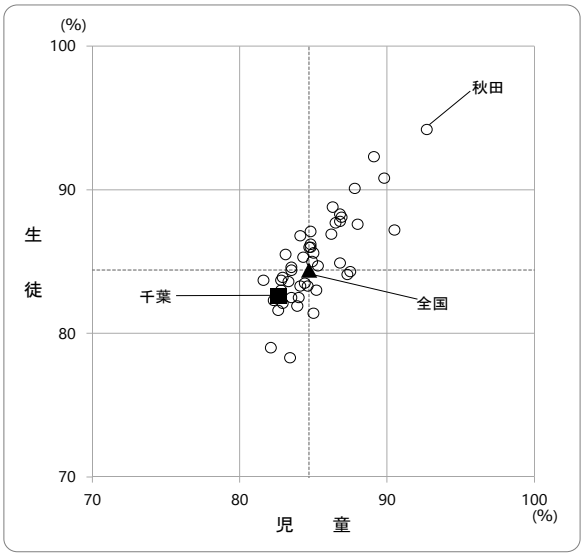
【平成２９年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



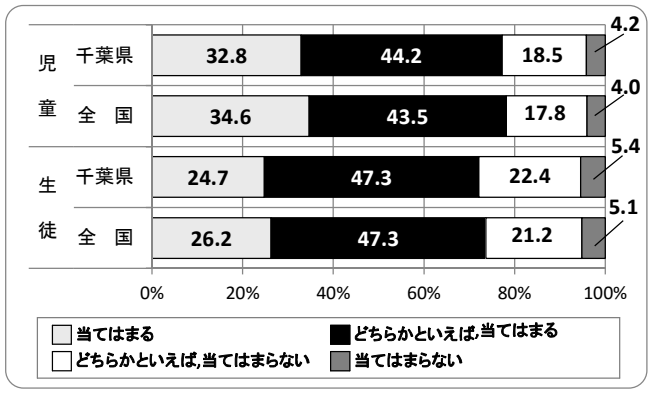
【散布図】



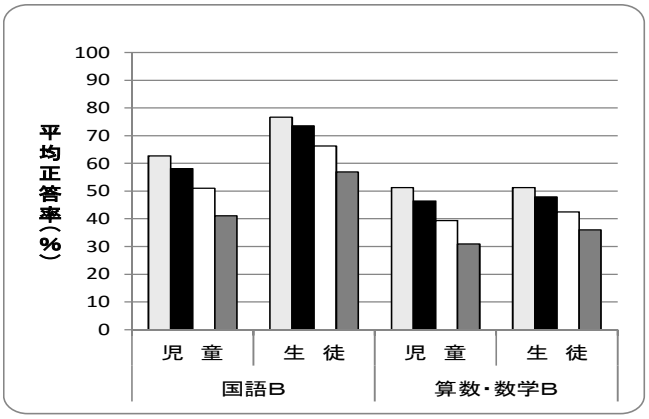
肯定的回答の割合は，児童生徒ともに全国と比べてやや低い。自分の考えを発表する機会が与えられていたと思っている児童生徒ほど正答率が高い傾向がある。

児 59 生 61	授業で，学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動では，話し合う内容を理解して，相手の考えを最後まで聞き，自分の考えをしっかり伝えていたと思いますか

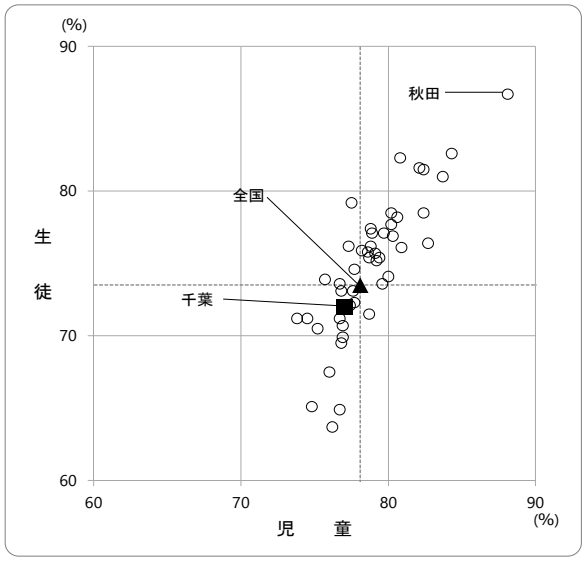
【平成２９年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



【散布図】



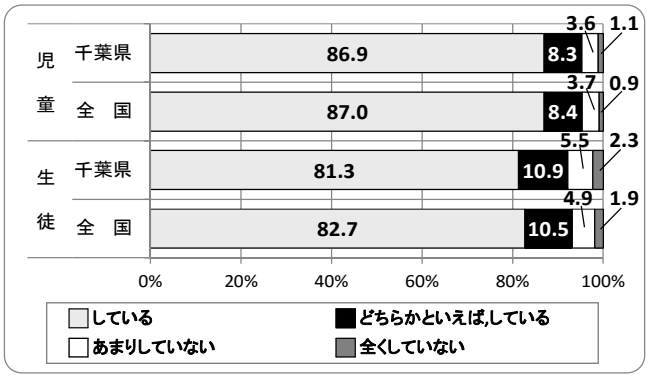
肯定的回答の割合は，児童生徒ともに全国と比べてやや低い。相手の考えを最後まで聞き，自分の考えをしっかり伝えていたと思う児童生徒ほど正答率が高い傾向がある。

イ　生活習慣

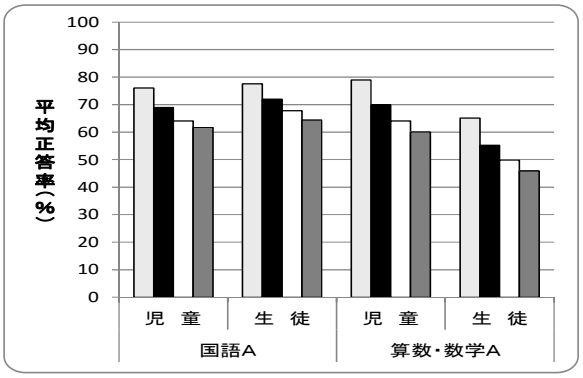
質問番号		質　問　事　項	児童(肯定的回答)			生徒(肯定的回答)		
児童	生徒		千葉(%)	全国との差		千葉(%)	全国との差	
1	1	朝食を毎日食べていますか	95.2	-0.2		92.2	-1.0	
2	2	毎日，同じくらいの時刻に寝ていますか	79.7	-0.1		74.3	-1.3	
3	3	毎日，同じくらいの時刻に起きていますか	90.9	-0.3		92.3	-0.1	

1　朝食を毎日食べていますか

【平成２９年度調査結果】

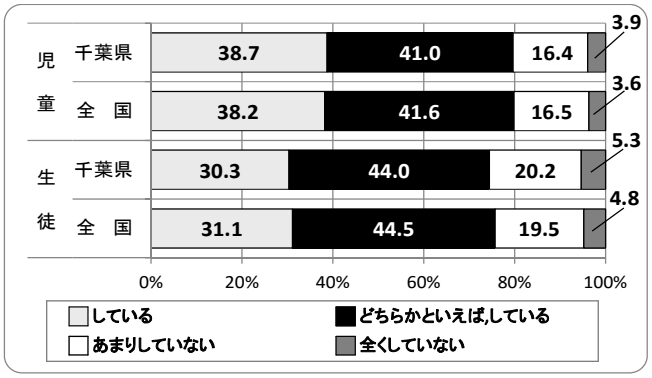


【回答結果と正答率の関連】

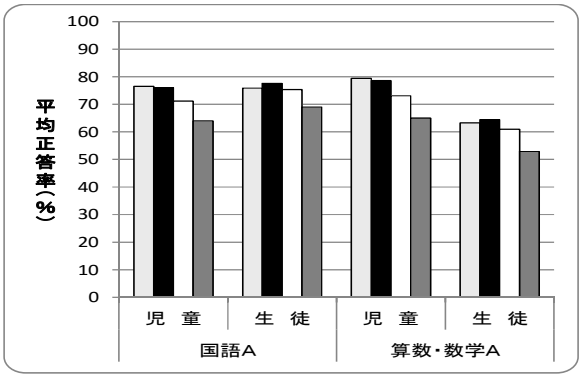


2　毎日，同じくらいの時刻に寝ていますか

【平成２９年度調査結果】

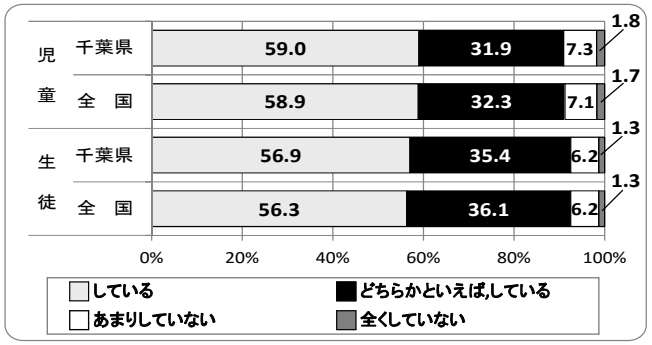


【回答結果と正答率の関連】

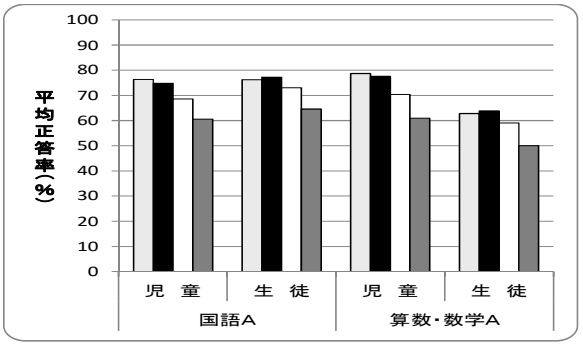


3　毎日，同じくらいの時刻に起きていますか

【平成２９年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



朝食を毎日食べている割合は，児童生徒ともに 90%を超えており，全国と比べて同程度である。毎日，同じくらいの時刻に寝ていると回答した割合は，児童は全国と比べて同程度であり，生徒はやや低い。毎日，同じくらいの時刻に起きていると回答した児童生徒の割合は，全国と同程度である。

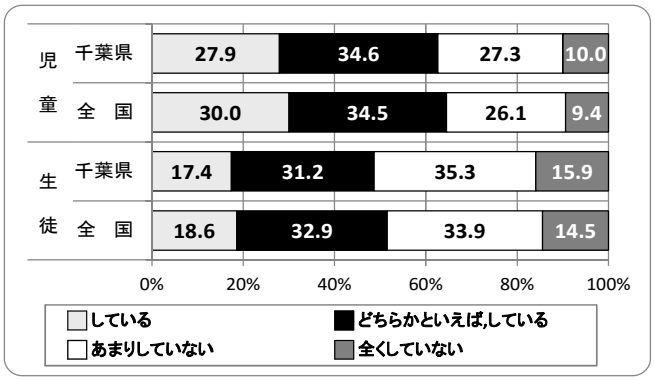
全ての質問において，肯定的回答をした児童生徒ほど正答率が高く，特に「朝食を毎日食べていますか」という質問ではその傾向が顕著である。

ウ　学習習慣

質問番号		質　問　事　項	児童(肯定的回答)			生徒(肯定的回答)		
児童	生徒		千葉(%)	全国との差		千葉(%)	全国との差	
29	31	家で，自分で計画を立てて勉強をしていますか	62.5	-2.0		48.6	-2.9	
30	32	家で，学校の宿題をしていますか	96.4	-0.5		85.1	-4.4	
31	33	家で，学校の授業の予習をしていますか	40.6	-0.4		33.1	1.4	
32	34	家で，学校の授業の復習をしていますか	50.1	-3.7		48.7	-1.8	

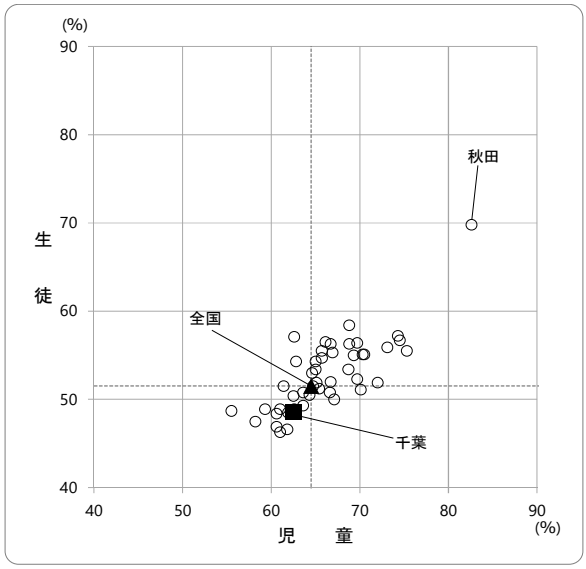
児 29 / 生 31　家で，自分で計画を立てて勉強をしていますか

【平成２９年度調査結果】



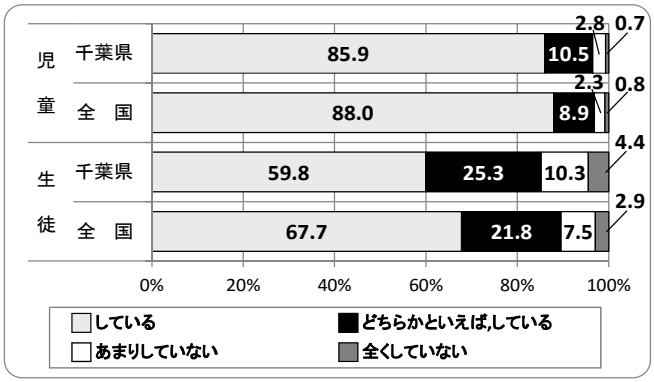
家で計画を立てて勉強をしている割合は，児童生徒ともに全国と比べてやや低く，全国の中でも下位に位置している。

【散布図】

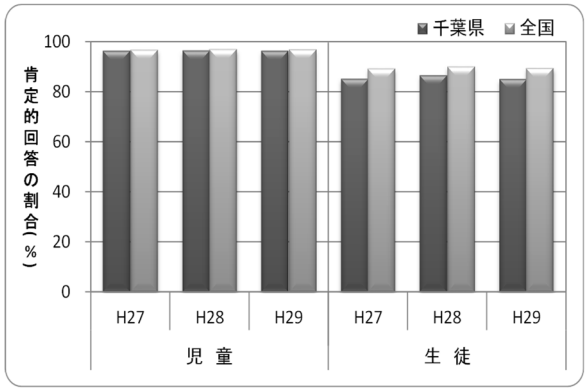


児 30 / 生 32　家で，学校の宿題をしていますか

【平成２９年度調査結果】



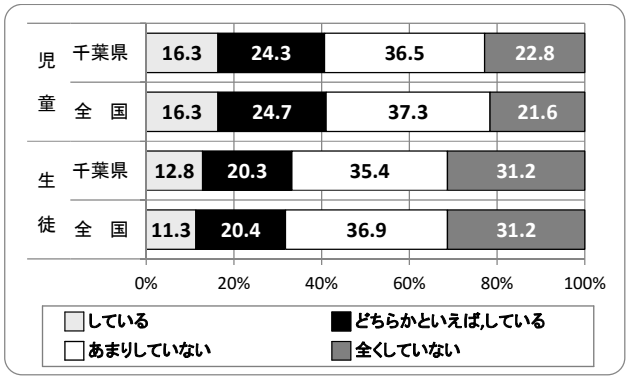
【経年変化】



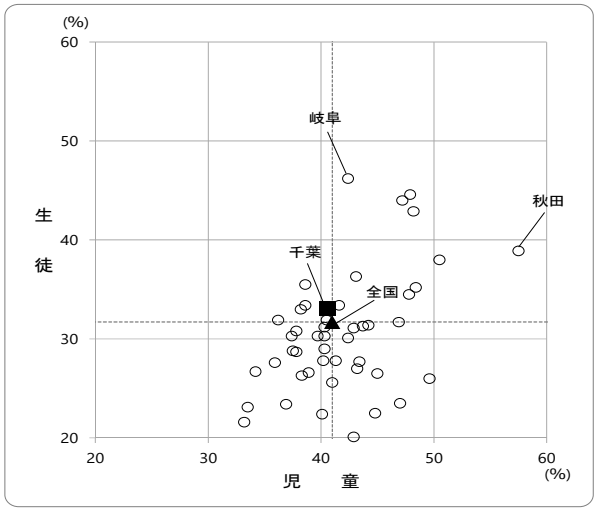
家で学校の宿題をしている児童の割合は，全国と比べて同程度で，生徒はやや低い。しかし，経年変化を見ると，生徒は少しずつではあるが，改善が見られる。

児 31 / 生 33　家で，学校の授業の予習をしていますか

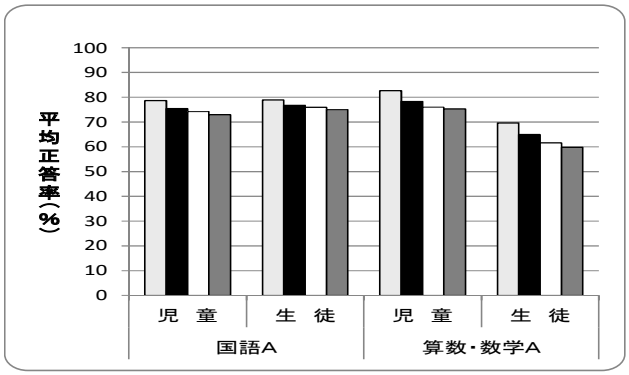
【平成２９年度調査結果】



【散布図】



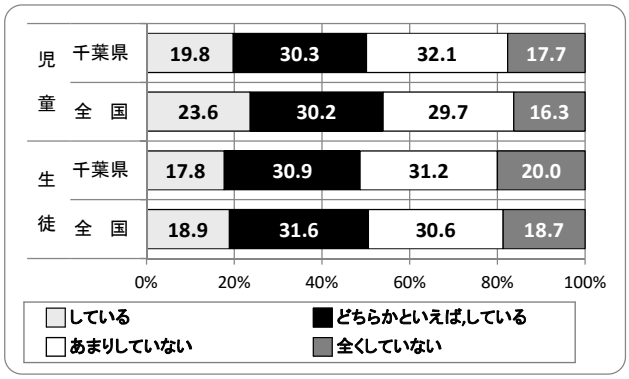
【回答結果と正答率の関連】



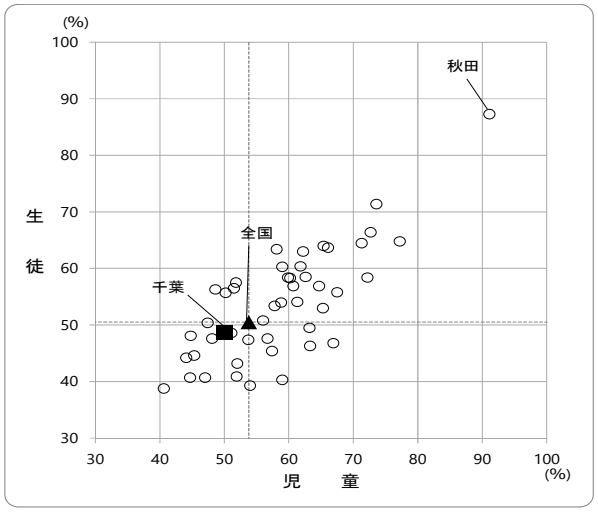
家で授業の予習をしている割合は，児童は全国と比べて同程度で，生徒はやや高い。しかし，肯定的回答をした児童生徒は 50%にも達していない。予習をしている児童生徒ほど，算数・数学で正答率が高く，その傾向が顕著である。

児 32 / 生 34　家で，学校の授業の復習をしていますか

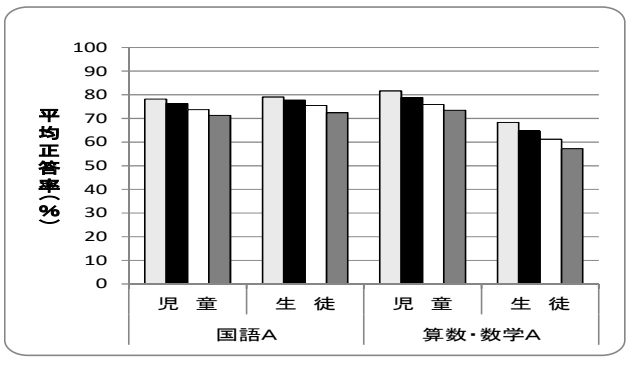
【平成２９度調査結果】



【散布図】



【回答結果と正答率の関連】



家で授業の復習をしている割合は，児童生徒ともに全国と比べて低い。また，復習をしている児童生徒ほど，算数・数学で正答率が高く，その傾向が顕著である。

（２） 学校質問紙調査

① 教科指導

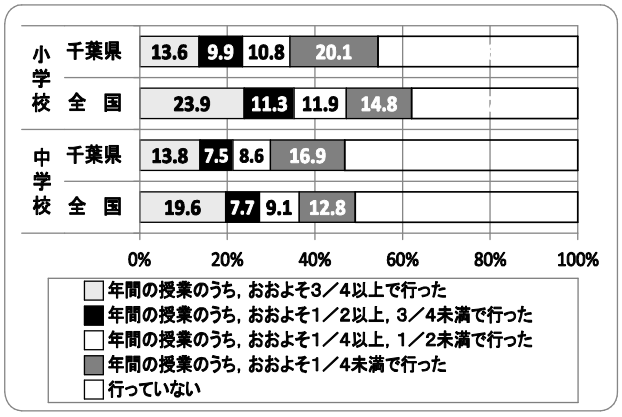
ア 個に応じた指導

質問番号		質問事項	小学校(肯定的回答)			中学校(肯定的回答)		
小	中		千葉(%)	全国との差		千葉(%)	全国との差	
60	60	算数・数学の授業において,前年度に，習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い,習得できるようにしましたか	23.5	-11.7	▼	21.3	-6.0	▼
61	61	算数・数学の授業において,前年度に，習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い,発展的な内容を扱いましたか	14.1	-11.7	▼	16.4	-5.5	▼
62	62	算数・数学の授業において，前年度に，ティームティーチングによる指導を行いましたか	36.6	2.2		47.2	12.5	△

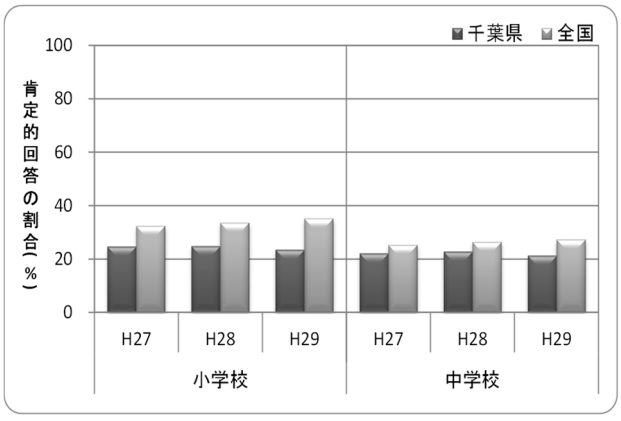
※60～62の「肯定的回答の割合」とは,年間の授業のうちおおよそ,「3/4以上」,「1/2～3/4」で行ったと回答した割合の合計である。

60	算数・数学の授業において，前年度に，習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い，習得できるようにしましたか

【平成２９年度調査結果】

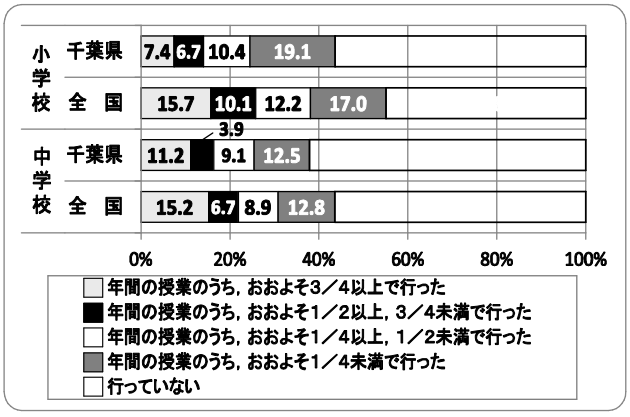


【経年変化】

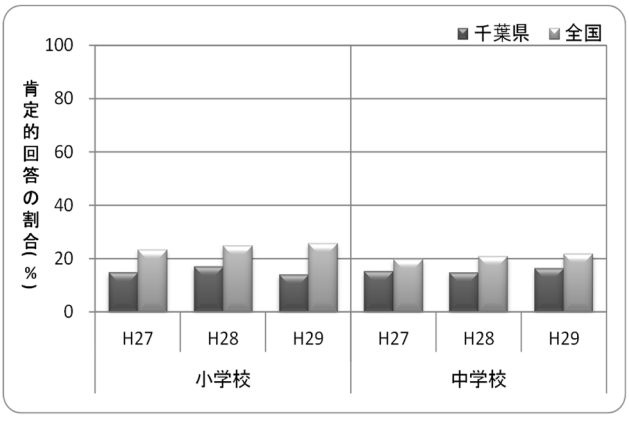


61	算数・数学の授業において,前年度に,習熟の早いグループに対して少人数指導を行い,発展的な内容を扱いましたか

【平成２９年度調査結果】



【経年変化】



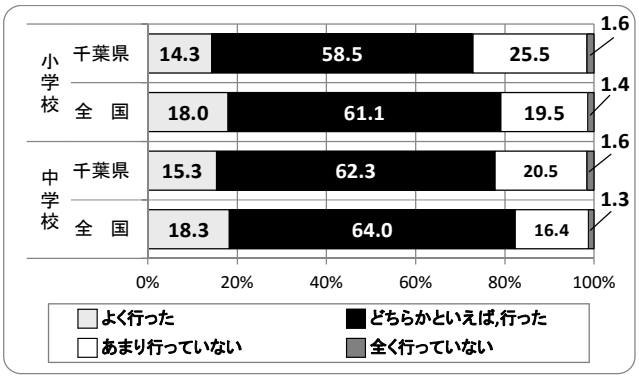
算数・数学の授業における習熟度別の少人数指導について,「前年度に年間の授業のうち,おおよそ 1/2 以上で行った」割合は，小中学校ともに全国より低く，中学校よりも小学校の方が全国との差が大きい。小中学校ともに，習熟の早いグループに対する少人数指導を行った割合よりも，習熟の遅いグループに対する少人数指導を行った割合の方が高い。また，ティームティーチングによる指導について,算数・数学では,小学校は全国と比べてやや高く，中学校は著しく高い。

イ　国語科の指導法

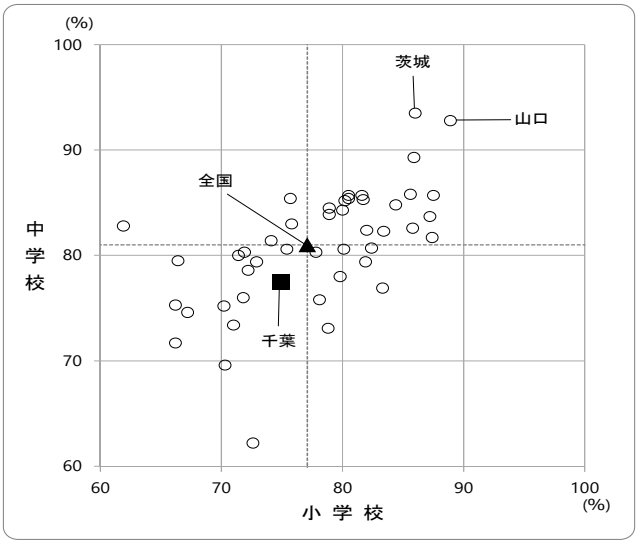
質問番号 小	質問番号 中	質問事項	小学校(肯定的回答) 千葉(%)	小学校(肯定的回答) 全国との差		中学校(肯定的回答) 千葉(%)	中学校(肯定的回答) 全国との差	
64	64	国語の指導として，前年度までに，補充的な学習の指導を行いましたか	72.8	−6.3	▼	77.6	−4.7	
65	65	国語の指導として，前年度までに，発展的な学習の指導を行いましたか	51.5	−1.2		67.0	−0.4	
66	66	国語の指導として，前年度までに，目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか	90.4	−1.8		87.3	−0.2	
67	67	国語の指導として，前年度までに，書く習慣を付ける授業を行いましたか	89.5	−3.9		95.1	−0.6	
68	68	国語の指導として，前年度までに，様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか	88.2	−0.7		90.9	0.3	
69	69	国語の指導として，前年度までに，漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか	97.9	−0.2		99.0	0.6	
53	53	国語の授業において，コンピュータ等の情報通信技術を活用した授業を行いましたか	38.9	−6.0	▼	21.1	−4.2	

64　国語の指導として，前年度までに，補充的な学習の指導を行いましたか

【平成２９年度調査結果】

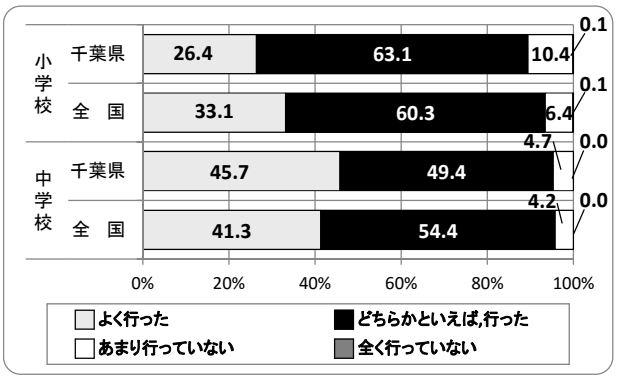


【散布図】

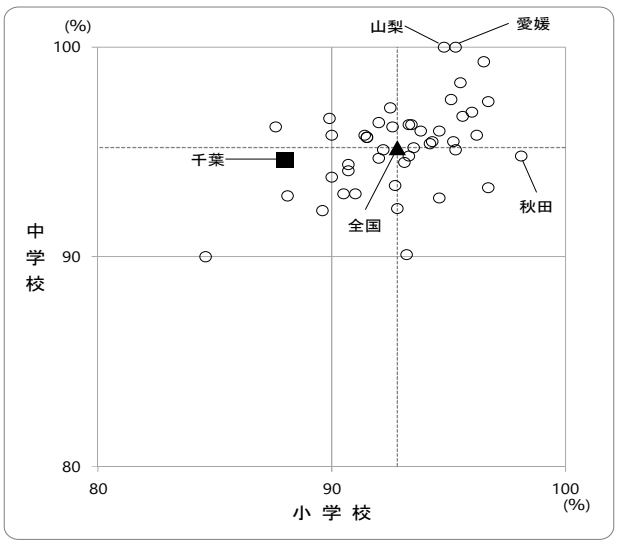


67　国語の指導として，前年度までに，書く習慣を付ける授業を行いましたか

【平成２９年度調査結果】



【散布図】



国語の指導として補充的な学習の指導を行った割合は，全国と比べて小学校は低く，中学校はやや低い。

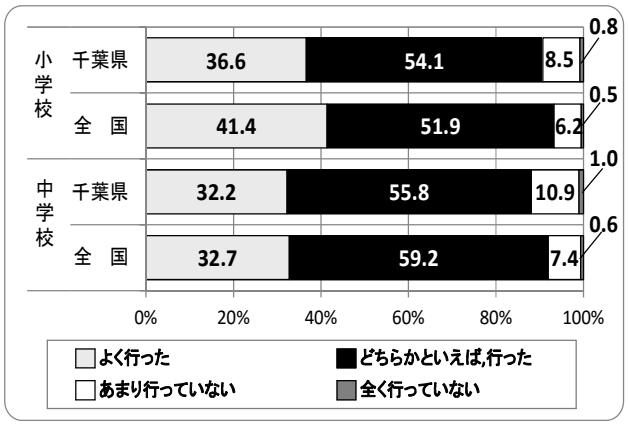
書く習慣を付ける授業を行った割合は，小学校では全国と比べて低く，全国の中でも下位に位置している。中学校と比べても，「よく行った」と回答した割合は，19.3 ポイント低い。また，発展的な学習の指導を行った割合は，中学校は小学校よりも 15.5 ポイント高く，差がひらいている。小中学校ともに，発展的な学習の指導を行った割合よりも補充的な学習の指導を行った割合の方が高い。

ウ　算数・数学科の指導法

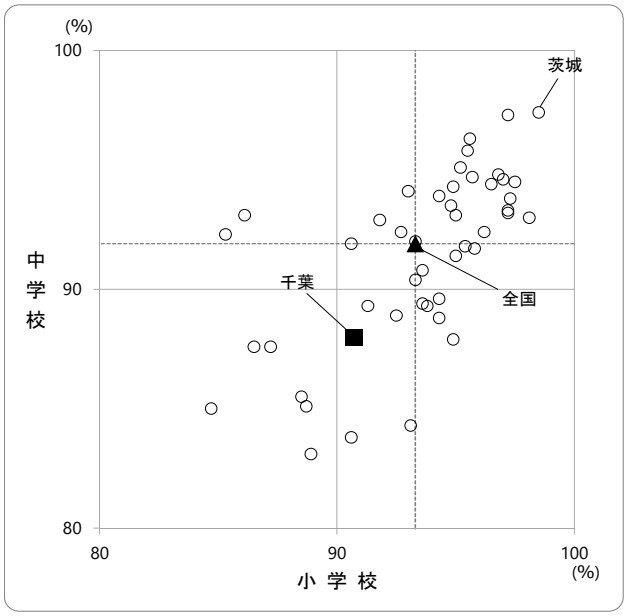
質問番号 小	質問番号 中	質問事項	小学校(肯定的回答) 千葉(%)	小学校(肯定的回答) 全国との差		中学校(肯定的回答) 千葉(%)	中学校(肯定的回答) 全国との差	
70	70	算数・数学の指導として，前年度までに，補充的な学習の指導を行いましたか	90.7	−2.6		88.0	−3.9	
71	71	算数・数学の指導として，前年度までに，発展的な学習の指導を行いましたか	62.1	−4.8		66.4	−4.8	
72	72	算数・数学の指導として，前年度までに，実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	69.5	−5.7	▼	70.1	−0.8	
73	73	算数・数学の指導として，前年度までに，計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか	98.1	0.6		95.4	−1.1	
74		調査対象である第６学年の児童に対する算数の授業では前年度までに，教科担任制を実施していましたか	5.2	−3.8				
54	54	算数･数学の授業において，コンピュータ等の情報通信技術を活用した授業を行いましたか	47.2	−8.2	▼	29.0	−9.8	▼

70	算数・数学の指導として，前年度までに，補充的な学習の指導を行いましたか

【平成２９年度調査結果】

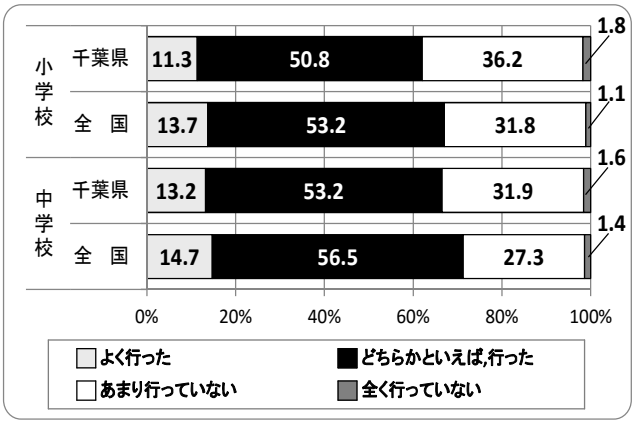


【散布図】

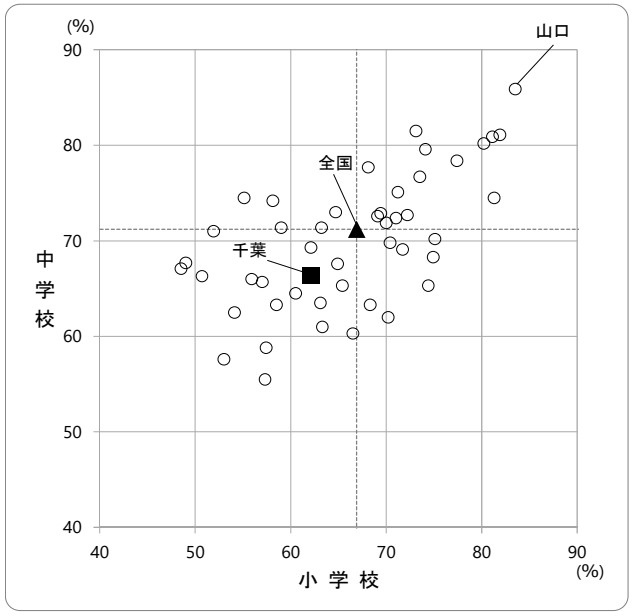


71	算数・数学の指導として，前年度までに，発展的な学習の指導を行いましたか

【平成２９年度調査結果】



【散布図】



補充的な学習の指導を行った割合は，全国と比べて，小中学校ともにやや低く，全国の中でも下位に位置している。発展的な学習の指導を行った割合は，小中学校ともに全国と比べてやや低い。小中学校ともに，発展的な学習の指導を行った割合よりも補充的な学習の指導を行った割合の方が高い。

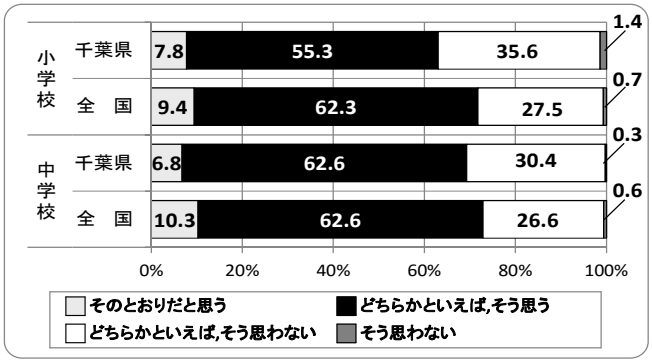
② 学力向上

ア 児童生徒の状況

質問番号 小	質問番号 中	質問事項	小学校(肯定的回答) 千葉(%)	小学校(肯定的回答) 全国との差		中学校(肯定的回答) 千葉(%)	中学校(肯定的回答) 全国との差	
12	12	児童生徒は，熱意をもって勉強していると思いますか	91.0	−3.2		89.1	−2.6	
13	13	児童生徒は，授業中の私語が少なく，落ち着いていると思いますか	86.7	−4.0		94.6	0.0	
14	14	児童生徒は礼儀正しいと思いますか	87.5	−2.0		92.7	−1.0	
15	15	児童生徒は,学級やグループでの話合いなどの活動で,自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	70.6	−6.9	▼	75.3	−0.6	
16	16	児童生徒は，学級やグループでの話合いなどの活動で，相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか	79.7	−7.0	▼	86.7	−2.6	
17	17	児童生徒は，学級やグループでの話合いなどの活動で，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていると思いますか	63.1	−8.6	▼	69.4	−3.5	
18	18	児童生徒は，自らが設定する課題や教員から設定される課題を理解して授業に取り組むことができていると思いますか	87.5	−4.3		87.8	−0.3	
19	19	児童生徒は，授業において，自らの考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して，発言や発表を行うことができていると思いますか	59.3	−3.7		59.2	−2.0	

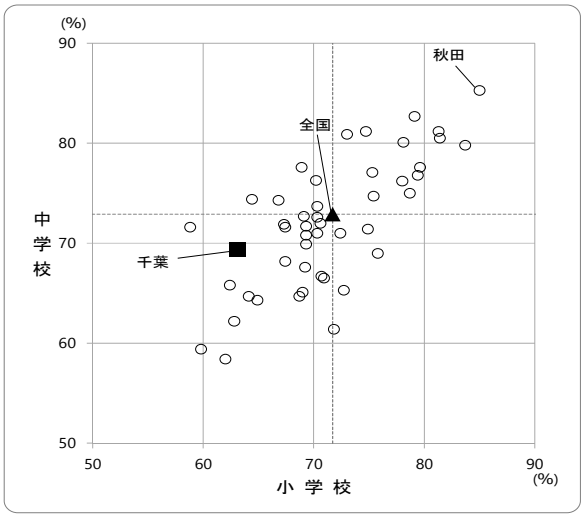
17 児童生徒は，学級やグループでの話合いなどの活動で，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていると思いますか

【平成２９年度調査結果】



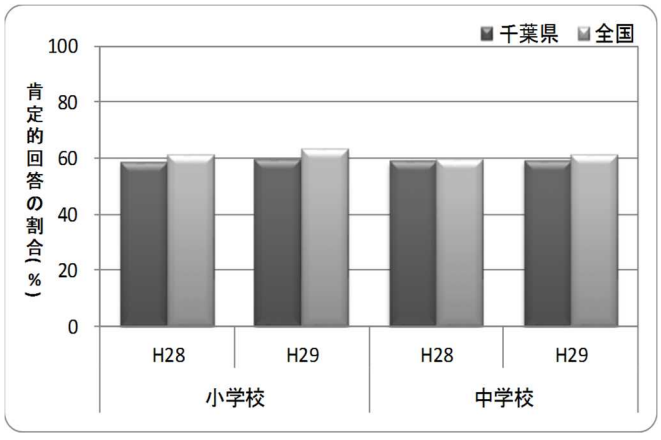
肯定的回答の割合は，小学校は全国と比べて低く，中学校もやや低い。小学校は，全国の中でも下位に位置している。

【散布図】



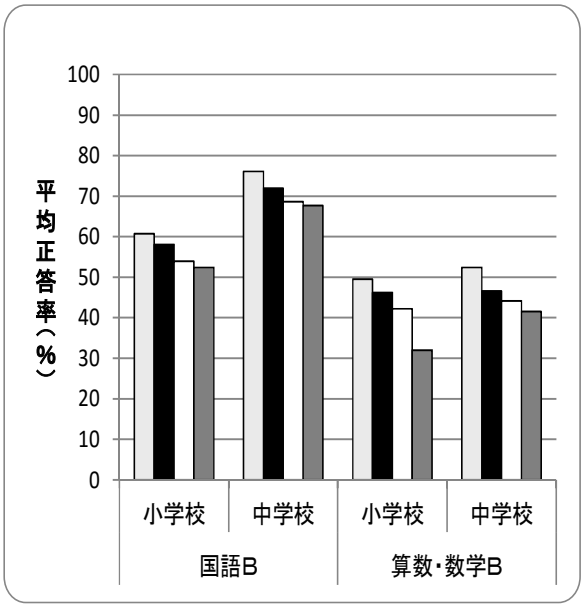
19 児童生徒は，授業において，自らの考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して，発言や発表を行うことができていると思いますか

【経年変化】



肯定的回答の割合は，小中学校ともに，全国と比べてやや低い。肯定的な回答をした学校の児童生徒ほど，正答率が高い。

【回答結果と正答率の関連】



イ　学力向上に向けた取組・指導方法

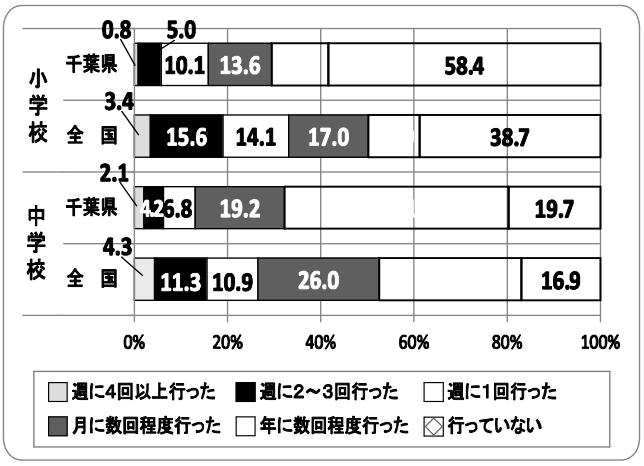
質問番号		質　問　事　項	小学校(肯定的回答)			中学校(肯定的回答)		
小	中		千葉(%)	全国との差		千葉(%)	全国との差	
22	22	前年度に，学力向上や学習の定着等を目的として，図書館資料を活用した授業を計画的に行いましたか	98.2	0.0		91.0	0.1	
23	23	前年度に，学力向上や学習の定着等を目的として，放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	41.7	-19.4	▼	80.4	-2.6	
24	24	前年度に，学力向上や学習の定着等を目的として，土曜日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	4.6	-5.4	▼	8.3	-8.4	▼
25	25	前年度に，長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか（実施した日数の累計）	44.6	-19.6	▼	76.9	-3.9	
32	32	習得･活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	90.1	-1.4		86.7	-2.9	
33	33	前年度までに，授業の中で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れましたか	99.5	0.5		98.2	-0.1	
34	34	前年度までに，授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか	94.5	-0.9		94.1	-0.2	
35	35	前年度までに，各教科等の指導のねらいを明確にした上で，言語活動を適切に位置付けましたか	91.3	-2.0		86.7	-3.8	
36	36	前年度までに，様々な考えを引き出したり，思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	94.1	-1.4		93.3	-0.6	
37	37	前年度までに，発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか	97.7	-0.6		96.9	-0.1	
38	38	前年度までに，授業で扱うノートに,学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書くように指導しましたか	99.4	2.0		95.6	4.4	
39	39	前年度までに，学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか	97.9	0.5		94.6	0.0	
40	40	前年度までに，総合的な学習の時間において，課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか	84.9	-0.4		79.0	-4.7	
41	41	前年度までに，児童〔生徒〕自ら学級やグループで課題を設定し,その解決に向けて話し合い,まとめ,表現するなどの学習活動を取り入れましたか	83.1	0.8		76.1	1.0	
42	42	前年度までに，本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導しましたか	94.2	1.6		85.2	1.7	
43	43	前年度までに，資料を使って発表ができるよう指導しましたか	92.8	1.6		80.0	-5.5	▼
44	44	前年度までに，自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか	92.2	-2.5		89.9	-2.2	
45	45	前年度までに，将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	69.7	-6.0	▼	96.9	-0.6	
46	46	前年度までに，学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	89.8	-1.8		85.4	-1.6	
47	47	前年度までに,道徳の時間において，児童〔生徒〕自らが考え，話し合う指導をしましたか	89.7	-0.9		89.1	-0.7	
48	48	前年度までに,学習規律(私語をしない,話をしている人の方を向いて聞く,聞き手に向かって話をする,授業開始のチャイムを守るなど)の維持を徹底しましたか	96.0	-0.7		97.9	-0.1	
49	49	各教科等で身につけたことを，様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか	81.9	-1.4		71.9	-3.3	
50	50	前年度までに,教科や総合的な学習の時間,あるいは朝や帰りの会などにおいて,地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか	77.6	-0.9		67.5	-4.5	
51	51	前年度までに，学校生活の中で，児童〔生徒〕一人一人のよい点や可能性を見付け，児童〔生徒〕に伝えるなど積極的に評価しましたか	97.4	0.0		93.7	-1.8	
52	52	前年度までに，コンピュータ等の情報通信技術を活用して，子供同士が教え合い学び合うなどの学習（協働学習）や課題発見･解決型の学習指導を行いましたか	75.4	3.8		62.6	-1.2	

※22の「肯定的回答」とは,「週に1回」,「月に数回」,「学期に数回」,「年に数回」行ったと回答した割合の合計である。
※23～25の「肯定的回答」とは,「行った」と回答した割合の合計である。

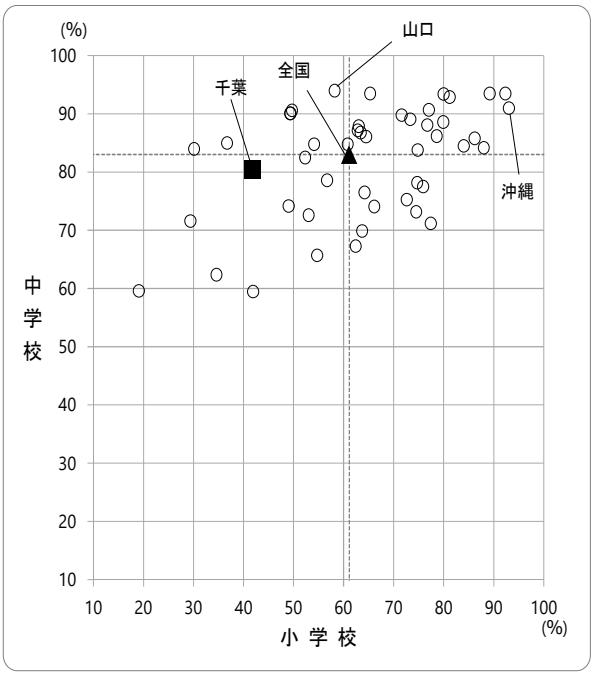
「授業で扱うノートに，学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書くように指導する」の肯定的回答の割合は，小中学校ともに95%を超えている。「将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をする」の肯定的回答の割合は，小学校は全国と比べて低く，全国の中でも下位に位置している。

23	前年度までに，学力向上や学習の定着等を目的とし，放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか

【平成２９年度調査結果】



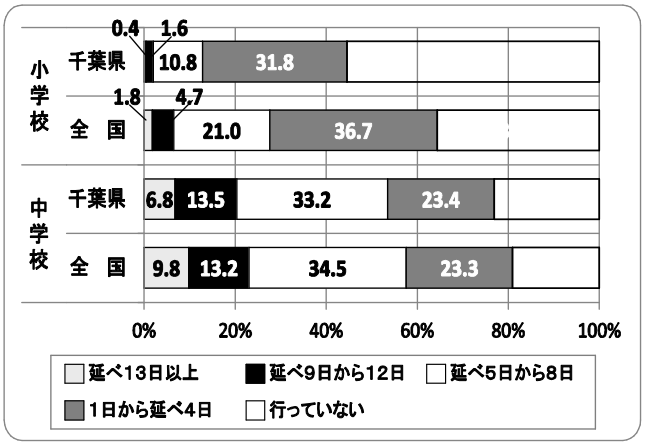
【散布図】



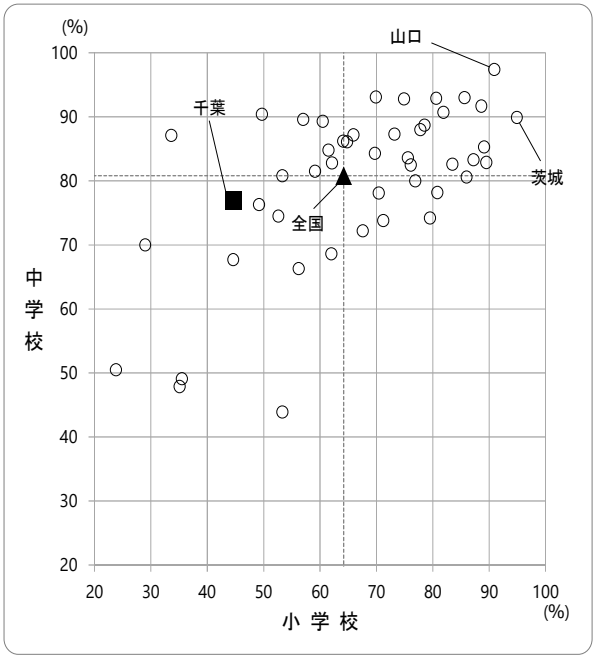
肯定的回答の割合は，全国と比べて，小学校は 41.7%と著しく低く，全国の中でも下位に位置している。中学校は，80%を超えている。

25	前年度に，長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか（実施した日数の累計）

【平成２９年度調査結果】



【散布図】



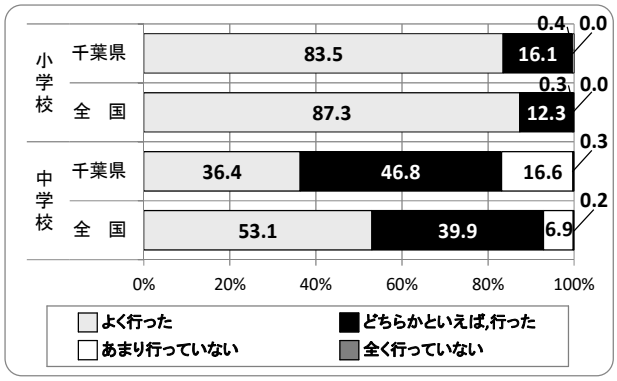
肯定的回答の割合は，小学校は 44.6%と全国と比べ著しく低く，全国の中でも下位に位置している。中学校は，全国と比べてやや低い。

ウ　家庭学習

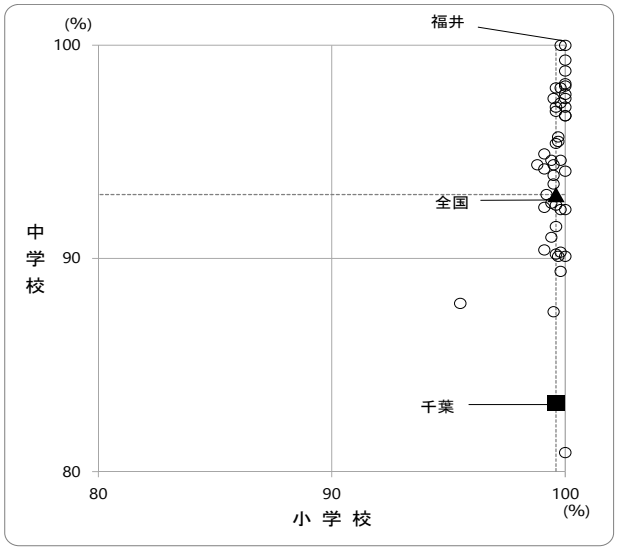
質問番号		質　問　事　項	小学校(肯定的回答)			中学校(肯定的回答)		
小	中		千葉(%)	全国との差		千葉(%)	全国との差	
90	88	前年度までに，国語の指導として，家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	99.6	0.0		83.2	-9.8	▼
91	89	前年度までに，国語の指導として，児童生徒に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について，評価・指導しましたか	97.7	-0.7		89.6	-5.3	▼
92	90	前年度までに，算数・数学の指導として，家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	99.7	0.1		88.3	-6.4	▼
93	91	前年度までに,算数・数学の指導として,児童生徒に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について,評価・指導しましたか	97.9	-0.7		89.7	-5.4	▼
94	92	前年度までに，保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか（国語／算数・数学共通）	96.3	-0.7		84.7	-2.9	
95	93	前年度までに，家庭学習の課題の与え方について，校内の教職員で共通理解を図りましたか（国語／算数・数学共通）	83.8	-5.8	▼	74.0	-8.2	▼
96	94	前年度までに，家庭学習の取組として，調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか（国語／算数・数学共通）	75.7	-7.4	▼	57.9	-11.9	▼
97	95	前年度までに,家庭学習の取組として,児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか（国語／算数・数学共通）	89.0	-3.2		82.1	-6.2	▼

小 90 中 88	前年度に，国語の指導として，家庭学習の課題（宿題）を与えましたか

【平成２９年度調査結果】

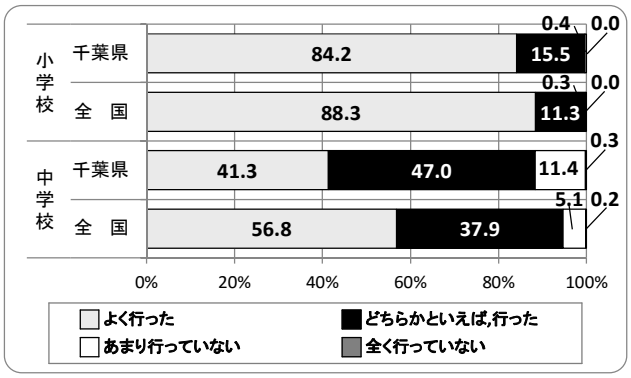


【散布図】

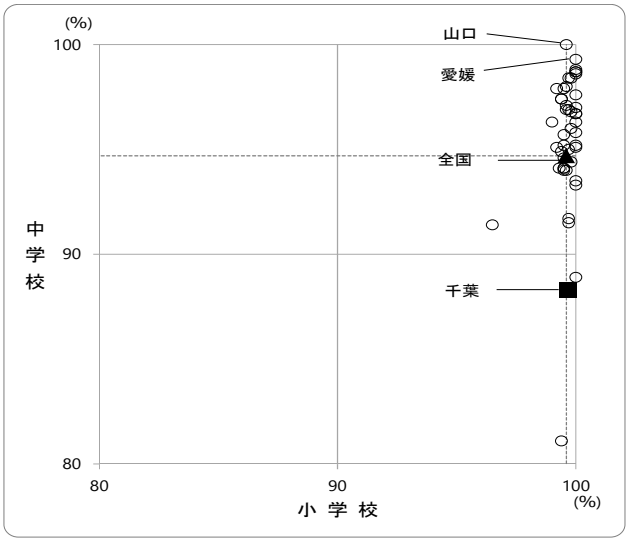


小 92 中 90	前年度までに，算数・数学の指導として，家庭学習の課題（宿題）を与えましたか

【平成２９年度調査結果】



【散布図】



肯定的回答の割合は，全国と比べ小学校は同程度で,中学校は低い。また，中学校は「課題（宿題）を与える」では，全国との差が，国語が 9.8 ポイント,数学が 6.4 ポイントであり，全国の中でも下位に位置している。

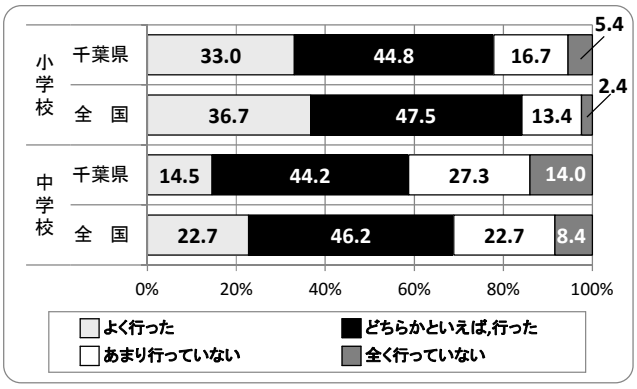
③　学校経営

ア　地域の人材・施設の活用

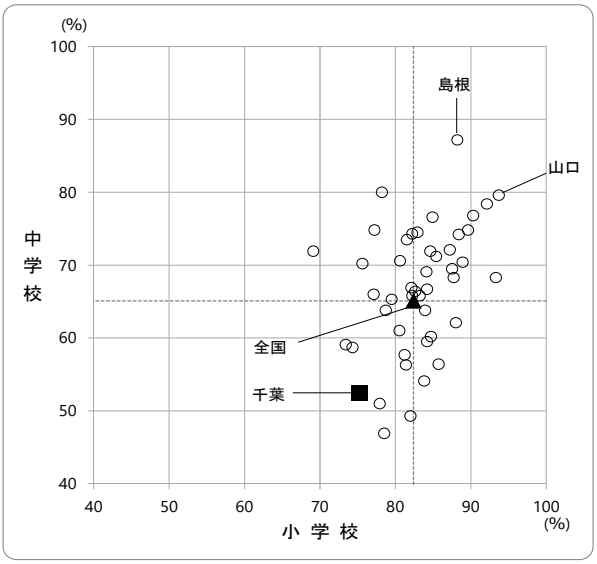
質問番号 小	質問番号 中	質問事項	小学校(肯定的回答) 千葉(%)	小学校(肯定的回答) 全国との差		中学校(肯定的回答) 千葉(%)	中学校(肯定的回答) 全国との差	
80	79	前年度までに，地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか	77.8	−6.4	▼	58.7	−10.2	▼
81	80	前年度までに，ボランティア等による授業サポート（補助）を行いましたか	52.2	2.3		27.8	−3.6	▼
82	81	前年度までに，博物館や科学館，図書館を利用した授業を行いましたか	56.4	8.2	△	17.1	−6.0	▼
83	82	前年度までに，地域や社会をよくするために何をすべきか考えさせるような授業を行いましたか（新規）	71.9	−3.7		52.8	−15.2	▼
84	83	前年度までに，授業や課外授業で地域のことを調べたり，地域の人と関わったりする機会を設定しましたか（新規）	80.0	−5.9	▼	66.8	−11.6	▼
86	84	職場見学や職場体験活動を行っていますか	68.0	22.6	△	97.9	−1.0	
87	85	ＰＴＡや地域の人が学校の諸活動（学校の美化など）にボランティアとして参加してくれますか	99.1	0.5		98.9	1.4	
88	86	学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより，保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか	93.1	4.4		85.2	7.8	△
89	87	保護者や地域の人の学校支援ボランティア活動は，学校の教育水準の向上に効果がありましたか	97.8	0.5		94.8	1.1	

小 80/中 79　前年度までに，地域人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか

【平成２９年度調査結果】



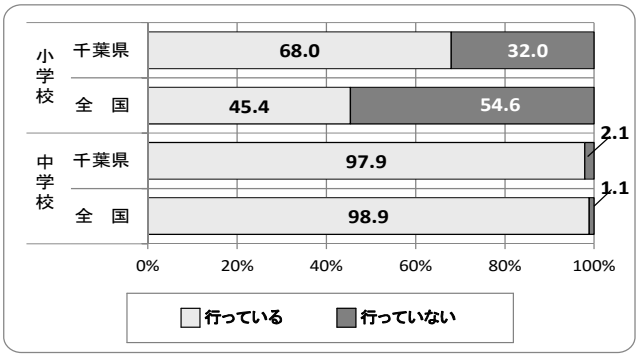
【散布図】



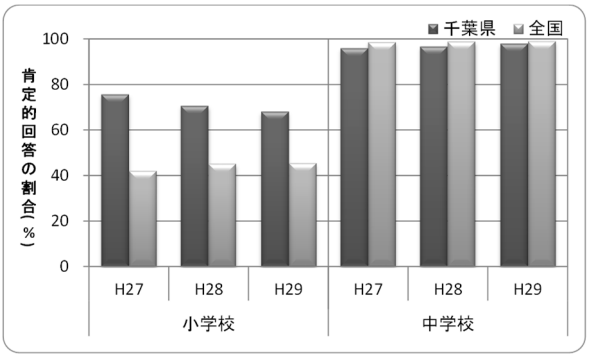
肯定的回答の割合は，小学校は全国と比べて低く，中学校は著しく低い。小中学校ともに，全国の中でも下位に位置している。

小 86/中 84　職場見学や職場体験活動を行っていますか

【平成２９年度調査結果】



【経年変化】



肯定的回答の割合は，小学校は全国と比べて著しく高く，全国を大きく上回る状況が続いている。中学校は全国と同程度である。

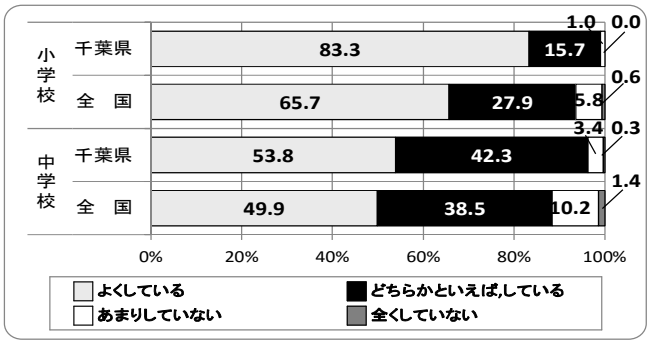
イ　教員研修・教職員の取組

質問番号 小	質問番号 中	質問事項	小学校(肯定的回答) 千葉(%)	全国との差		中学校(肯定的回答) 千葉(%)	全国との差	
26	26	指導計画について，知識･技能の活用に重点を置いて作成していますか	90.0	−1.3		90.9	−1.1	
27	27	指導計画について，言語活動に重点を置いて作成していますか	93.2	−0.7		90.1	−0.9	
28	28	指導計画の作成に当たっては，各教科等の教育内容を相互の関係で捉え，学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で，その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか	86.7	0.0		77.2	−1.1	
29	29	教育課程表（全体計画や年間指導計画等）について，各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか	83.3	−2.5		70.9	−6.6	
30	30	児童〔生徒〕の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき，教育課程を編成し，実施し，評価して改善を図る一連のＰＤＣＡサイクルを確立していますか	88.4	−3.1		83.6	−4.2	
31	31	指導計画の作成に当たっては，教育内容と，教育活動に必要な人的・物的資源等を，地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	90.5	−2.1		65.2	−9.4	▼
98	96	校長のリーダーシップのもと，研修リーダー等を校内に設け，校内研修の実施計画を整備するなど，組織的，継続的な研修を行っていますか	99.4	0.2		94.8	−3.2	
99	97	学校でテーマを決め，講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか	99.0	5.4	△	96.1	7.7	△
100	98	模擬授業や事例研究など，実践的な研修を行っていますか	95.1	−0.5		87.0	−3.0	▼
101	99	教員が，他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか	96.1	−1.2		93.0	−2.0	
102		（小学校において）個々の教員が，自らの専門性を高めていこうとしている教科・領域等を決めており，校外の教員同士の授業研究の場に定期的・継続的に参加していますか	88.1	2.6				
	100	（中学校において）教員は，校外の教員同士の授業研究の場に定期的・継続的に参加していますか				81.5	0.0	
103	101	児童〔生徒〕自ら学級やグループで課題を設定し，その解決に向けて話し合い，まとめ，表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	73.5	−2.5		56.9	−11.7	▼
104	102	授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか	65.4	−5.8	▼	31.7	−18.5	▼
105	103	教職員は，校内外の研修や研究会に参加し，その成果を教育活動に積極的に反映させていますか	95.4	−1.0		90.2	−2.4	
106	104	学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては，教職員同士が協力し合っていますか	96.1	0.3		95.6	1.8	
107	105	学校全体の言語活動の実施状況や課題について，全教職員の間で話し合ったり，検討したりしていますか	85.6	−5.5	▼	77.7	−4.8	
108	106	言語活動について，国語科だけではなく，各教科，道徳，外国語活動，総合的な学習の時間及び特別活動を通じて，学校全体として取り組んでいますか	90.3	−2.0		85.5	−3.3	
109	107	学校全体の学力傾向や課題について，全教職員の間で共有していますか	98.6	−0.2		97.9	−0.5	
110	108	学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し，学校として組織的に取り組んでいますか	98.3	0.3		96.8	0.2	
111	109	校長は，校内の授業をどの程度見て回っていますか	96.8	2.3		89.4	5.9	△

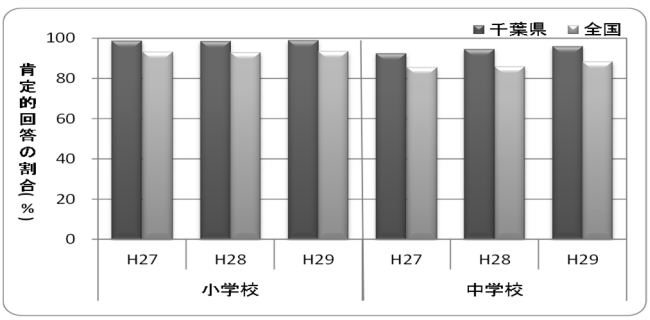
※104(小)，102(中)の「肯定的回答の割合」とは，「年間7回以上実施した」と回答した割合である。
※111(小)，109(中)の「肯定的回答の割合」とは，「ほぼ毎日」，「週に2～3日程度」と回答した割合の合計である。

小99 中97	学校でテーマを決め，講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか

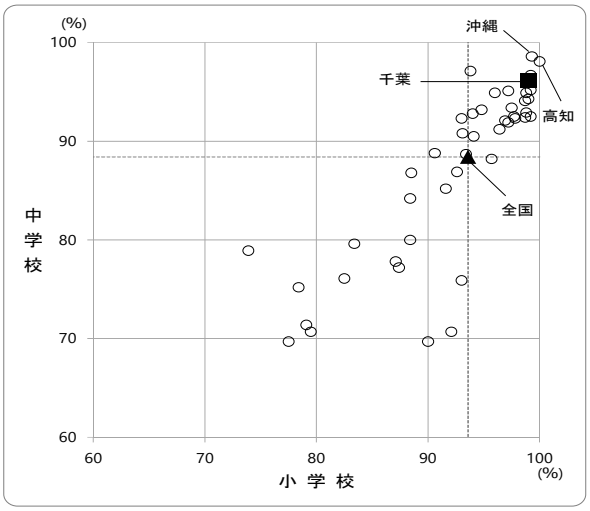
【平成２９年度調査結果】



【経年変化】



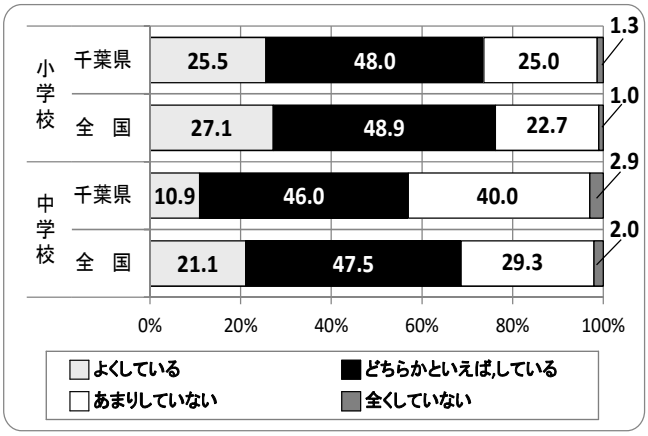
【散布図】



肯定的回答の割合は，小中学校ともに全国と比べて高く，全国を上回る状況が続いている。小中学校ともに，全国の中でも上位に位置している。

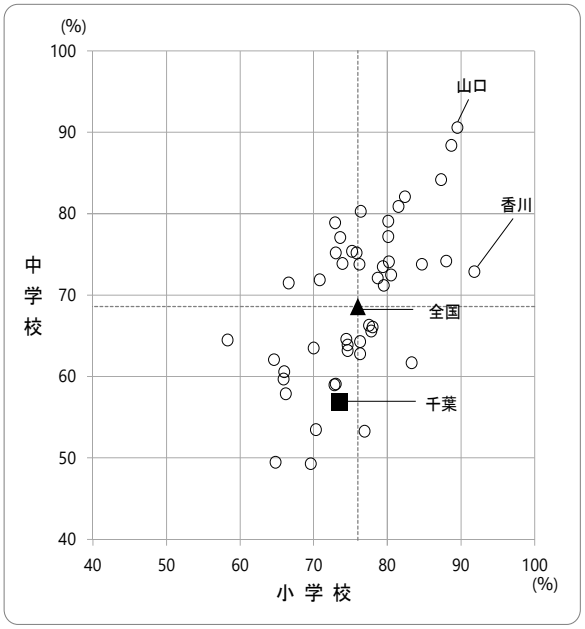
小 103 中 101	児童〔生徒〕自ら学級やグループで課題を設定し，その解決に向けて話し合い，まとめ，表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか

【平成２９年度調査結果】



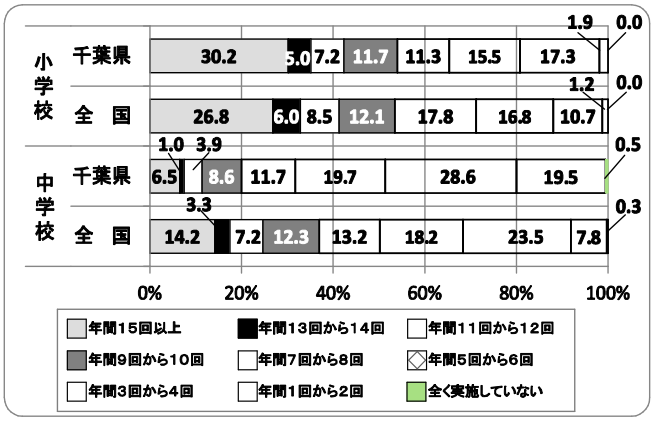
肯定的回答の割合は，全国と比べて，小学校はやや低い。特に中学校は，「よくしている」と回答した学校が，10.9％であり，全国の中でも下位に位置している。

【散布図】

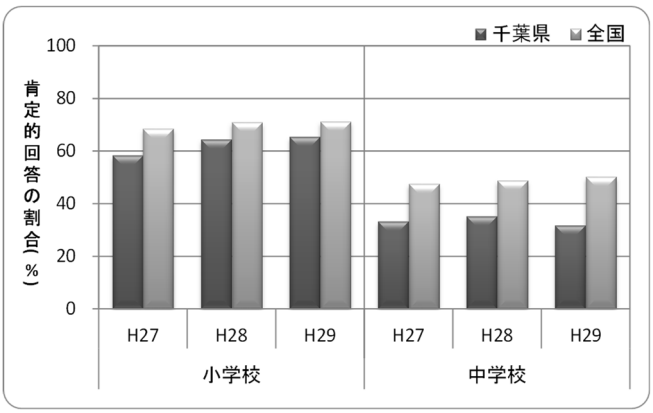


小104 中102	授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか

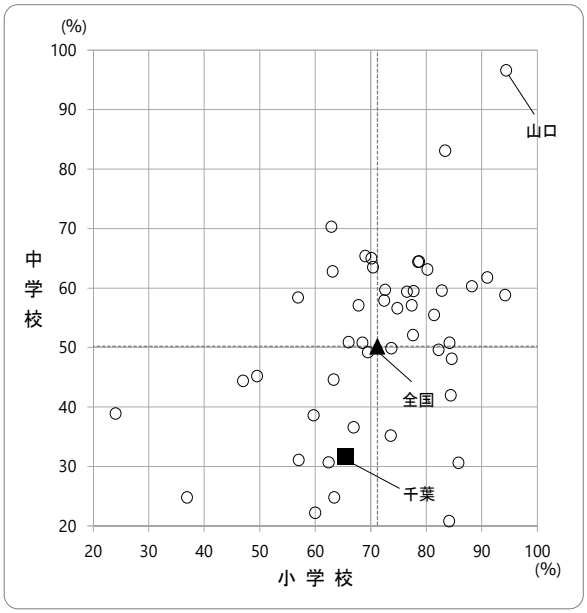
【平成２９年度調査結果】



【経年変化】



【散布図】



肯定的回答の割合（年間７回以上実施したと回答した割合）は，小学校は全国と比べて低く，中学校は著しく低い状況が続いている。また，全国の中でも下位に位置している。

家庭学習の充実に向けて

全国学力・学習状況調査結果チャート（６，７ページ参照）に見られるとおり，児童生徒質問紙における「学習習慣」の領域と学校質問紙における「家庭学習」の領域については，小中学校ともに全国を下回っている。数年間の推移を見ると，改善傾向が見られる項目もあるが，継続した課題であることから，調査結果に基づいて検証し，児童生徒の学習習慣の確立や，家庭学習を充実させるための学校の取組について，一層の改善を図っていく必要がある。

（１）児童生徒質問紙調査から（平成２９年度調査結果については，６０，６１ページ参照）

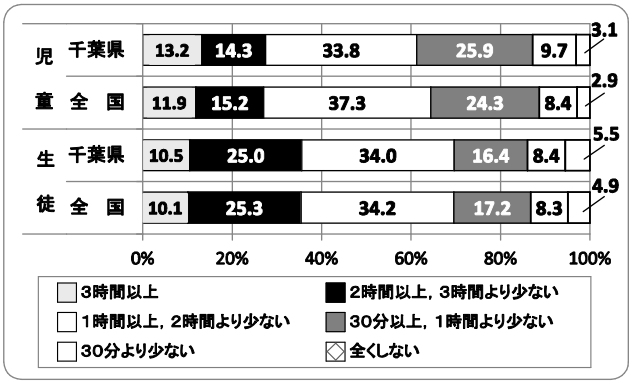
家庭における学習習慣の定着が不十分であることがわかる。児童生徒ともに，宿題をする割合は高いが，計画的な勉強や予習・復習をする割合は低く，学習態度が受動的であることがうかがえる。宿題とともに予習・復習のバランスのとれた，自主的・計画的な学習態度を育成する必要がある。

学習時間は全国に比べて少ない状況である。長時間勉強する児童生徒の割合は全国と比べてやや上回るが，ほとんどしない割合もやや上回る。また，携帯電話等を長時間利用する児童生徒が多く，学習時間の確保に影響を及ぼしていることが考えられる。

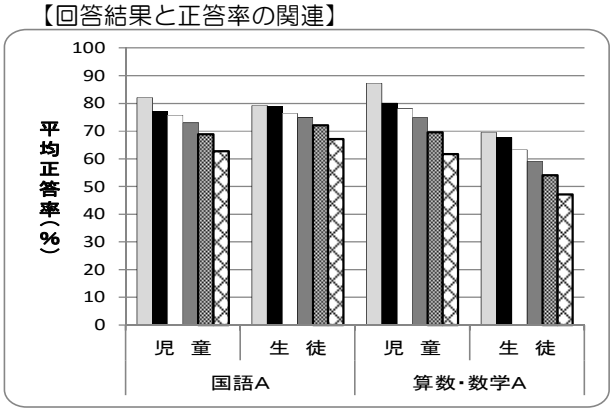
◆学習時間について

15	学校の授業時間以外に，普段（月～金曜日），１日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

【平成２９年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】

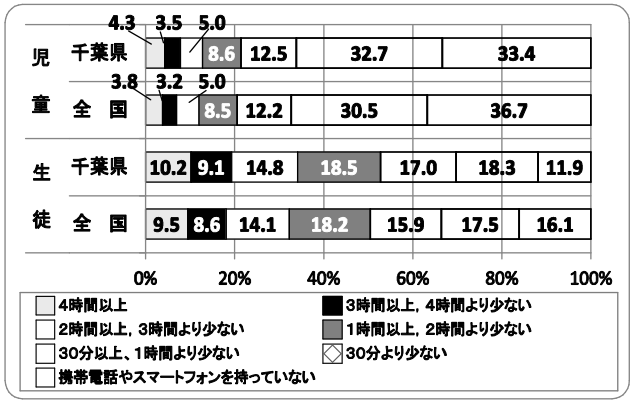


学校の授業時間以外の学習時間が，「1 時間以上，２時間より少ない」と「全くしない」割合で比較してみると，児童生徒ともに平均正答率で 10 ポイント以上のひらきがある。

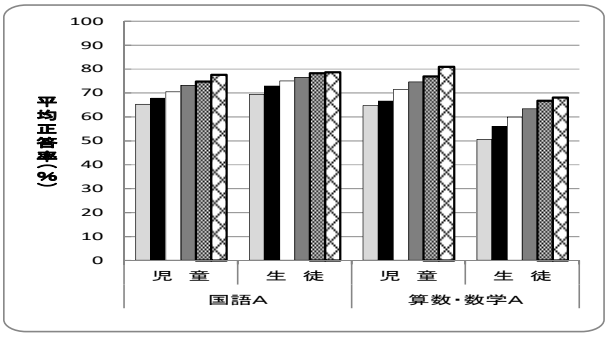
◆生活習慣について

14	普段（月～金曜日），１日当たりどれくらいの時間，携帯電話やスマートフォンで通話やメール，インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）

【平成２９年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



※「携帯電話やスマートフォンを持っていない」と回答した割合を除いて作成している。

「１時間以上携帯電話やスマートフォンを使用する」割合は，児童生徒ともに全国よりやや高く，全国の中でも上位に位置している。携帯電話等を使用する時間が長い児童生徒ほど，正答率が低い傾向にある。

（２）学校質問紙調査から

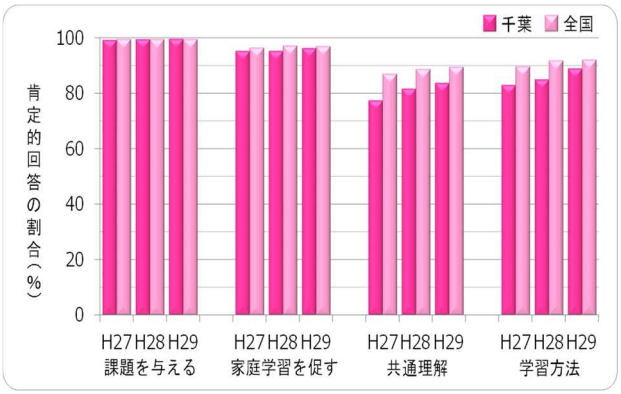
◆家庭学習に関わる学校の取組について

「宿題の与え方における教職員の共通理解」が全国を下回る状況が続いていることから，宿題については学級や教科担任に任されている現状が推測され，学校全体としての基本方針に基づいた校内体制を整えることが喫緊の課題と言える。

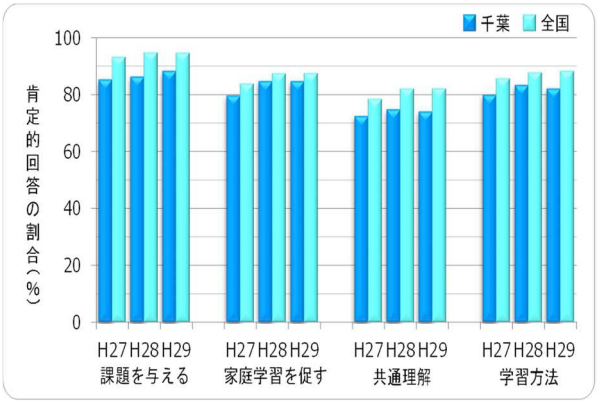
児童生徒の自主的な学習態度を育成するという観点から，働きかけの内容を工夫しながらそれを継続することが重要である。また，「学習の仕方」を身に付けることは，能動的に学習を進める上での大切な条件である。児童生徒に「家庭での学習方法を具体的に教える」ことは，それに直結する重要なことがらであり，学校としての積極的な取組が必要である。

小 92, 94, 95, 97 中 90, 92, 93, 95	前年度までに，次のような取組を行いましたか

【小学校　経年変化】



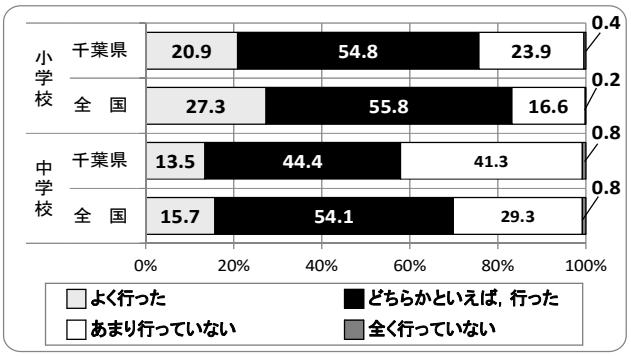
【中学校　経年変化】



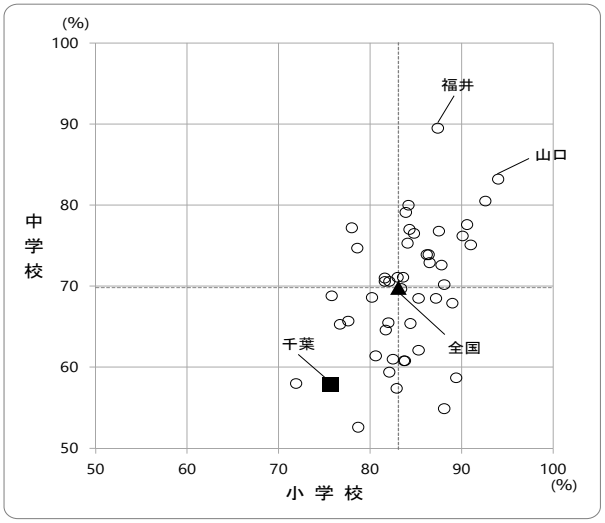
課題を与える：算数・数学の家庭学習の課題（宿題）を与える
共通理解：家庭学習の課題の与え方について，校内の教職員で共通理解を図る
家庭学習を促す：保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけを行う
学習方法：家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教える

小 96 中 94	前年度までに，家庭学習の取組として，調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか（国語／算数・数学共通）

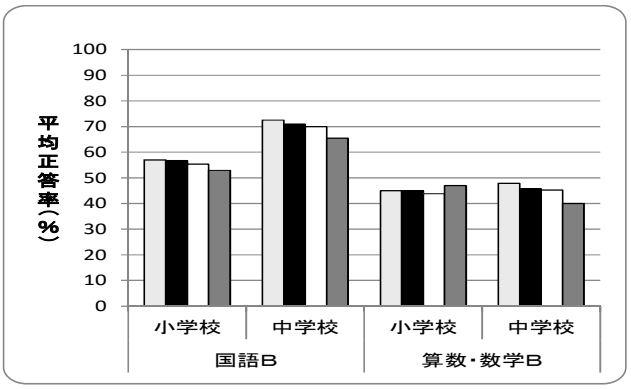
【平成２９年度調査結果】



【散布図】



【回答結果と正答率の関連】



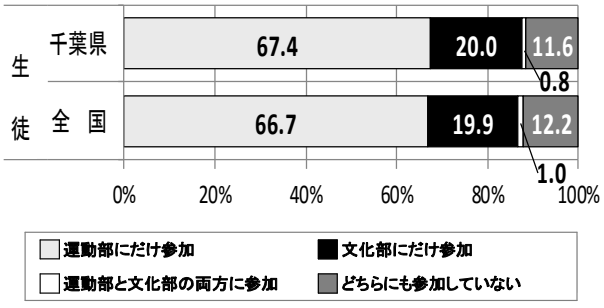
肯定的回答の割合は，全国と比べて小学校は低く，中学校は著しく低い。特に，小学校は全国の中でも下位に位置している。また，肯定的回答をした学校の生徒ほど「B問題」での正答率が高い傾向が見られる。

部活動（中学校）の状況について

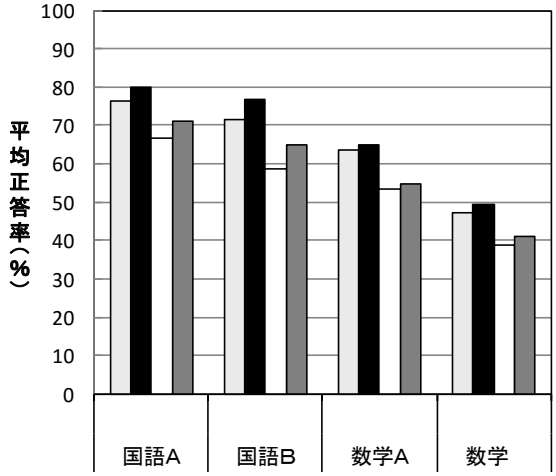
今年度，中学校部活動の状況に関する質問が実施された。部活動への参加状況は，全国と同様の傾向がみられる。回答結果と正答率の関連を見ると，部活動に参加している生徒は，参加していない生徒に比べて正答率が高い傾向がみられる。活動時間別に正答率を比較すると，１日当たり，２時間以上３時間より少ない時間活動している生徒の正答率が最も高い。全国では，１日当たり，１時間以上２時間より少ない時間活動をしている生徒の正答率が最も高い状況にある。

20　学校の部活動に参加していますか

【平成２９年度調査結果】



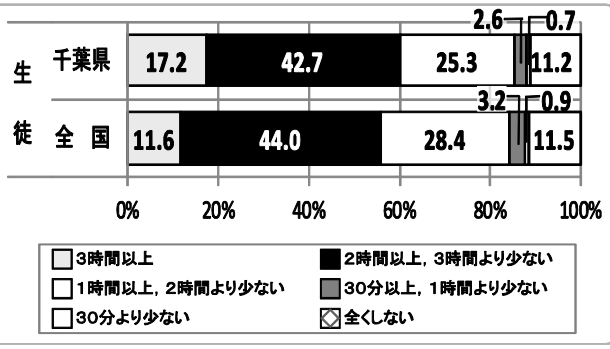
【回答結果と正答率の関連】



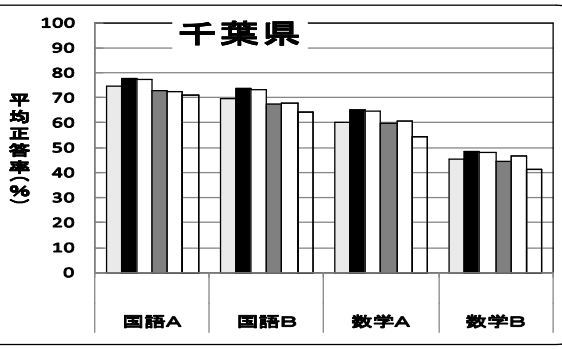
部活動への参加状況は全国と同程度であり，約 88%以上の生徒が参加している。運動部もしくは文化部に参加している生徒の正答率が高い傾向がある。

21　普段（月～金曜日）１日当たりどれくらいの時間部活動をしますか

【平成２９年度調査結果】

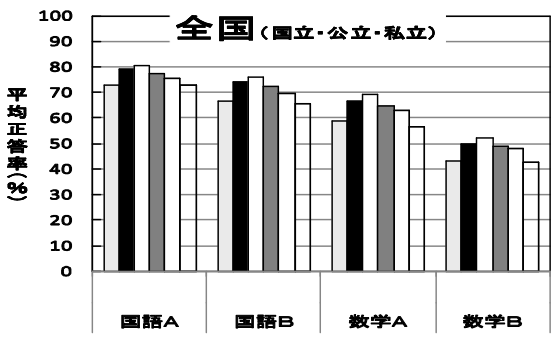


【回答結果と正答率の関連】



普段の活動時間については，３時間以上活動している割合が全国に比べて高い。２時間以上活動している割合はやや高い。回答結果と正答率の関連を見ると，２時間以上３時間より少ない時間活動している生徒が最も正答率が高い。

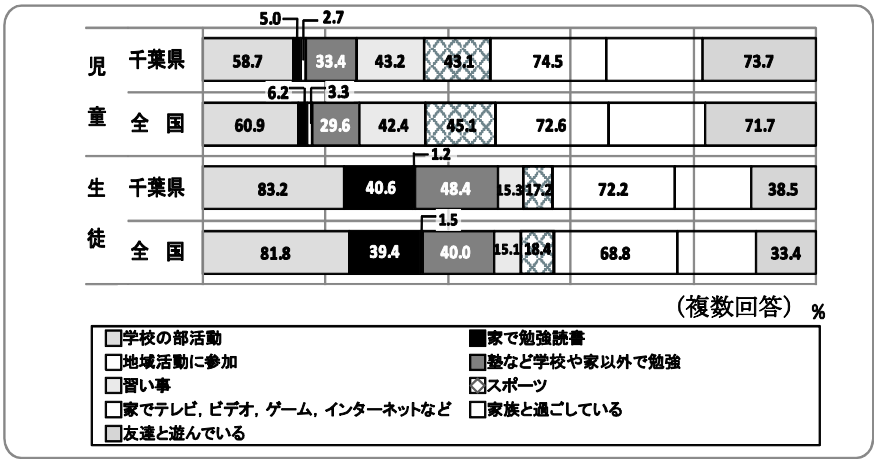
また，全国で３時間以上活動している生徒と全くしない生徒の正答率を比べると，数学Ａは全くしない生徒がやや低いが，国語Ａ・Ｂおよび数学Ｂは同程度である。



放課後の過ごし方について

児 21 生 23	放課後に何をして過ごすことが多いですか

【平成２９年度調査結果】

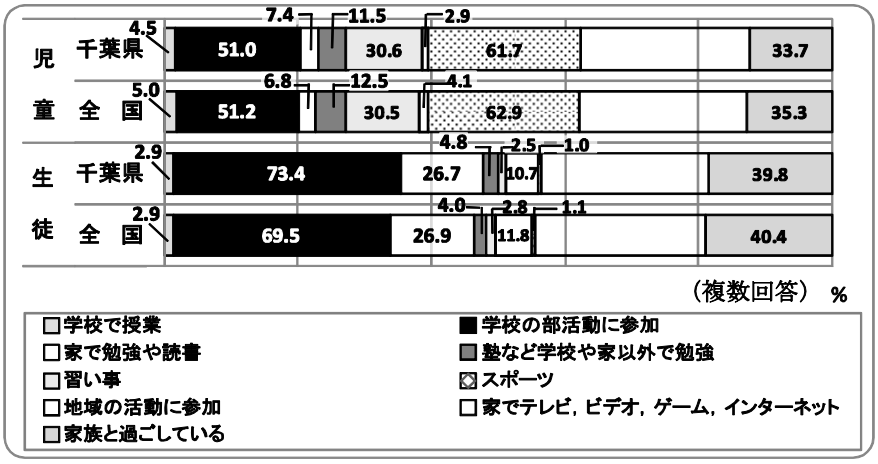


児童は，「家でテレビ等」，「友達と遊んでいる」の割合が高い。全国に比べて「部活動に参加」の割合がやや低い。

生徒は,「学校の部活動」の割合が最も高く,児童に比べて「学校の部活動」,「家で勉強読書」,「塾など学校や家以外で勉強」の割合が高い。

児 22 生 24	土曜日の午前は，何をして過ごすことが多いですか

【平成２９年度調査結果】

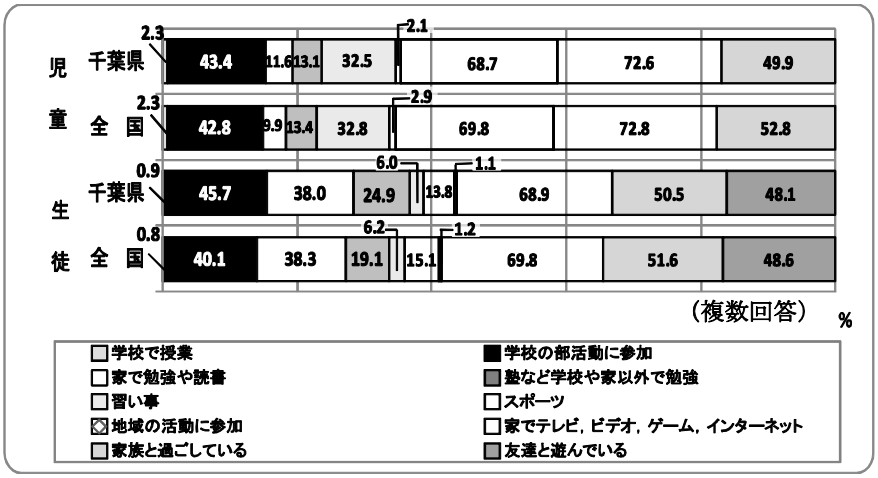


児童は「学校の部活動に参加」,「地域の活動に参加」,「家でテレビ等」の割合が高く，全国と比べて「家族と過ごしている」がやや低い。

生徒は,「部活動に参加」の割合が最も高く,全国と比べてやや高い。そのほかは，全国と同程度である。

児 23 生 25	土曜日の午後は，何をして過ごすことが多いですか

【平成２９年度調査結果】



児童生徒ともに，「家でテレビ等」の割合が高い。また,児童は「地域の活動に参加」の割合が高い。児童は，全国と比べて「家で勉強」,「学校の部活動に参加」の割合がやや高い。

生徒は「学校の部活動に参加」「塾など学校や家以外で勉強」の割合が高い。児童生徒とも「家族と過ごしている」がやや低い。

主体的・対話的で深い学びの充実に向けて

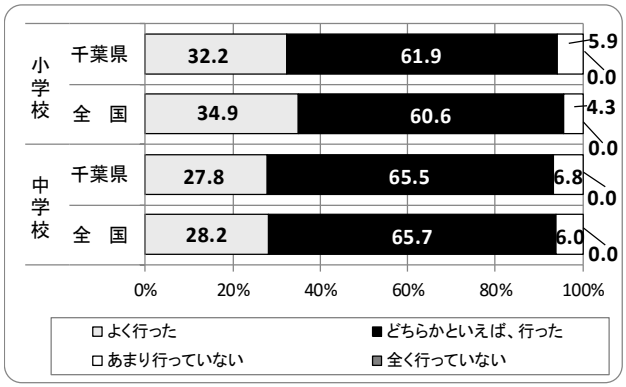
全国では，学習過程を見通した指導方法の改善・工夫に関して肯定的な回答をした学校の割合が約９割に達している。また，「自ら考え，自分から取り組んだ」，「話し合う活動によく取り組んだ」と回答している児童生徒ほど正答率が高い傾向が見られた。本県において，この傾向は全国と同様であるが，ほとんどの項目で肯定的な回答している割合が全国に比べてやや低い状況である。

主体的・対話的で深い学びを充実させるために，育てたい資質・能力を明確にし，授業の質の向上を図るとともに，基礎的・基本的な知識及び技能の習得に課題がある場合には，その確実な習得を図っていくことが必要である。

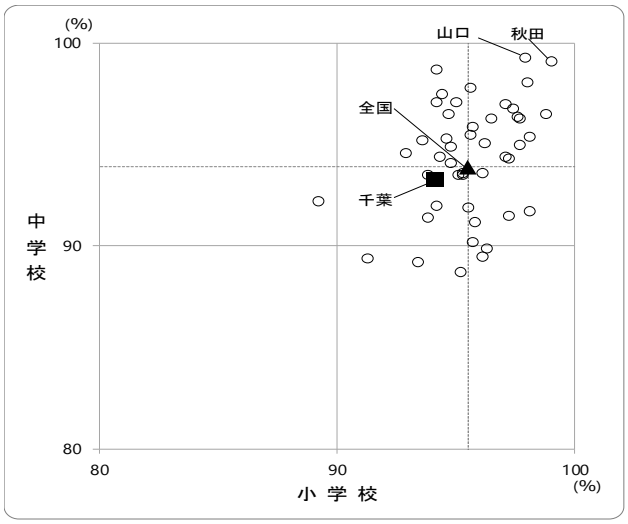
学校質問紙調査から

36	児童〔生徒〕の様々な考えを引き出したり，思考を深めたりするような発問や指導をしましたか

【平成２９年度調査結果】



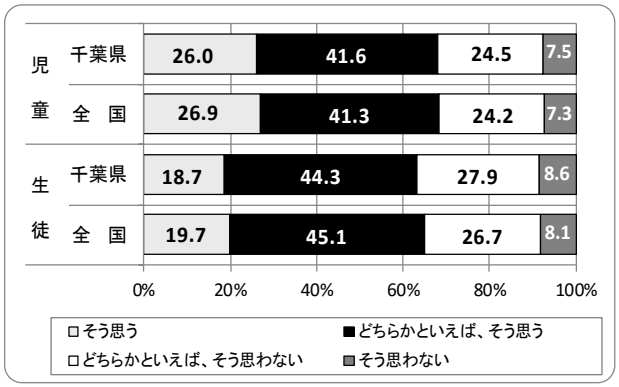
【散布図】



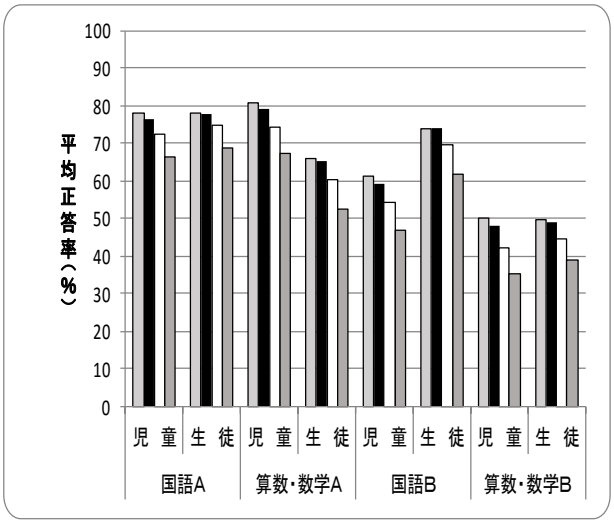
児童生徒質問紙調査から

児 68 生 70	学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていると思いますか

【平成２９年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】

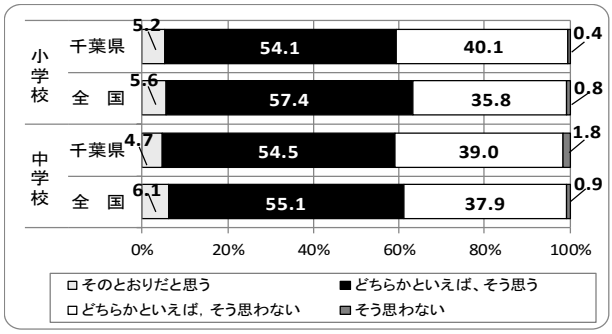


「思考を深めたりするような発問や指導をしましたか」について，肯定的な回答をした学校の割合は，小中学校ともに約９割を超えているが，全国に比べて小学校でやや低く，中学校は同程度である。

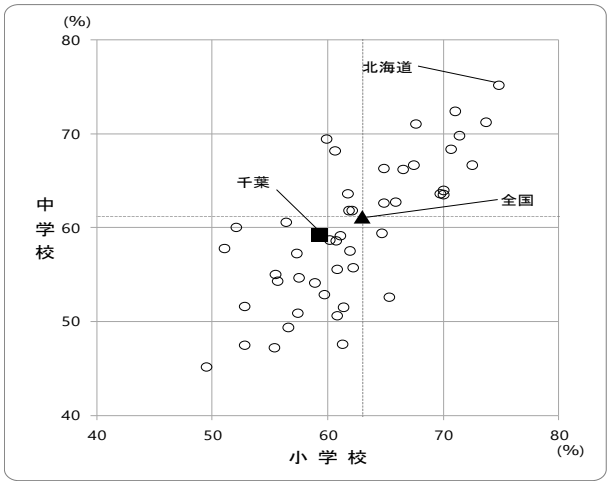
「自分の考えを深めたり，広げたりすることができているか」について，肯定的な回答をした学校の割合は，児童生徒ともに約７割を超えているが，全国に比べて小学校は同程度，中学校はやや低い。

19	児童〔生徒〕は，授業において，自らの考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して，発言や発表を行うことができていますか

【平成２９年度調査結果】

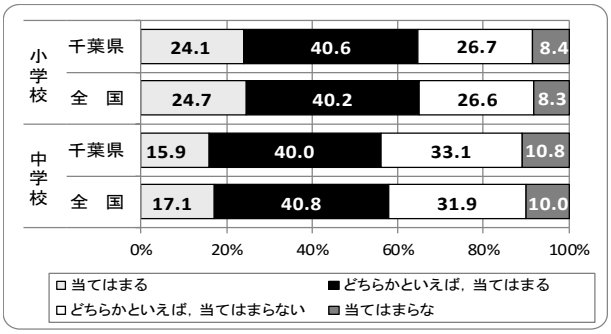


【散布図】

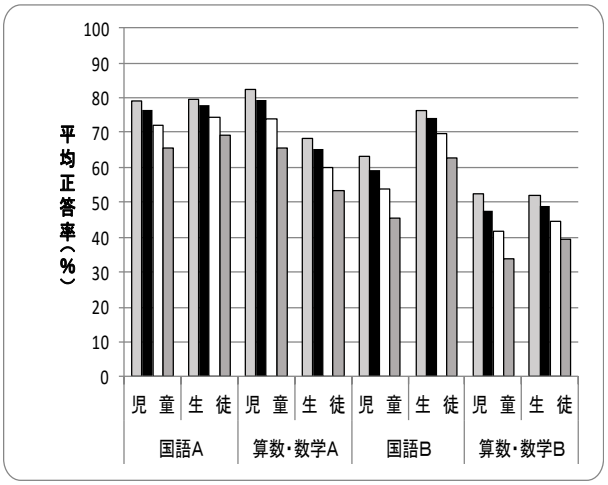


児 60 生 62	授業で，自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか

【平成２９年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



上記２項目について，肯定的な回答をした学校・児童生徒の割合は，全国に比べて小学校でやや低く，児童は同程度，中学校および生徒は，やや低い状況である。

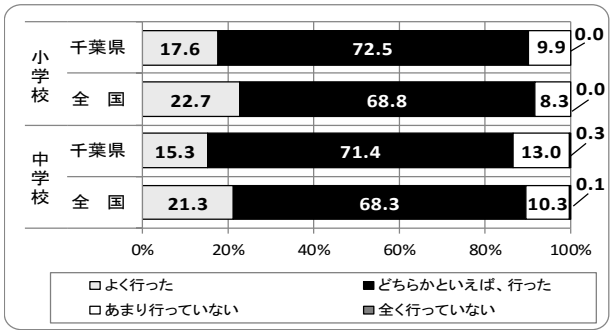
本県の小学校ー児童においては，学校の肯定的な回答より，児童の肯定的な回答の割合が高く，中学ー生徒においては，学校の肯定的な回答より，生徒の肯定的な回答の割合がやや低い。

肯定的な回答をしている児童生徒ほど，正答率が高い傾向がある。

学校質問紙調査から

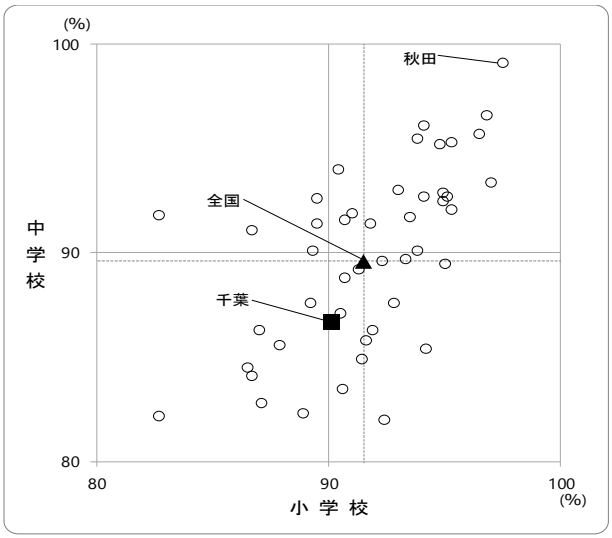
32	習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか

【平成２９年度調査結果】



肯定的な回答をした学校の割合は，小中学校ともに8.5割を超えているものの，「よく行った」と回答している学校は，全国に比べて低い。また，中学校においては「全く行っていない」の回答もある。

【散布図】



外国に関する興味・関心について

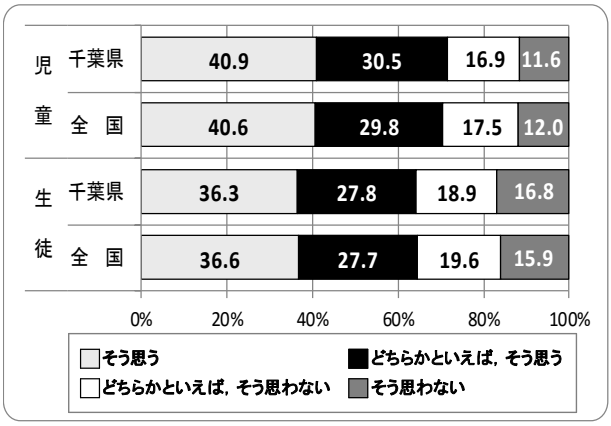
今年度，新たに「外国に対する興味・関心」に関わる質問項目が設けられた。外国への興味・関心に関して，肯定的な回答をしている児童生徒の割合に比べ，将来，外国との関わりを持つことに肯定的な回答をしている児童生徒の割合は，かなり低い状況がみられる。

「教育立県ちばプラン」を掲げ，グローバル人材の育成を期している本県において，今後もグローバル化が進む時代に鑑み，児童生徒の外国への興味関心の伸長を図るとともに，国際的な貢献をも視野に入れた将来への展望を持たせることが求められる。

児童生徒質問紙調査から

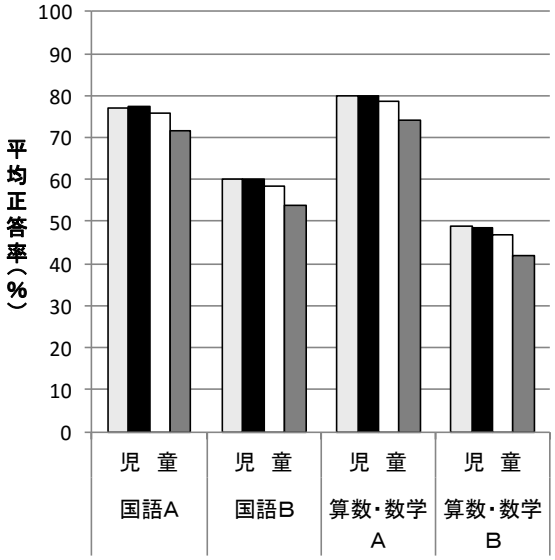
児 47 / 生 49　外国の人と友達になったり，外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか

【平成２９年度調査結果】



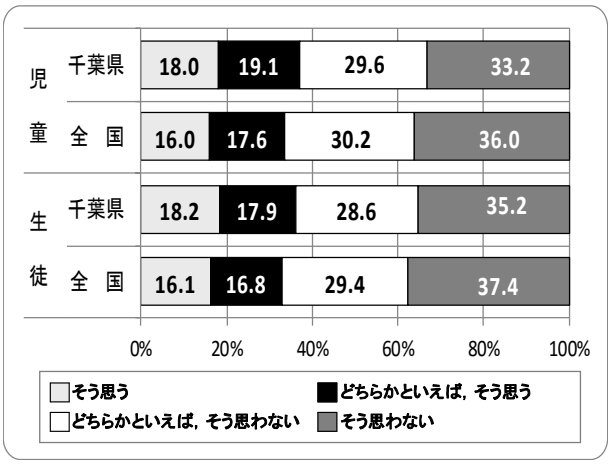
肯定的な回答の割合は，児童生徒ともに全国と比べてほぼ同程度である。肯定的な回答をしている児童ほど，知識・活用ともに正答率が高い傾向がある。

【回答結果と正答率の関連】



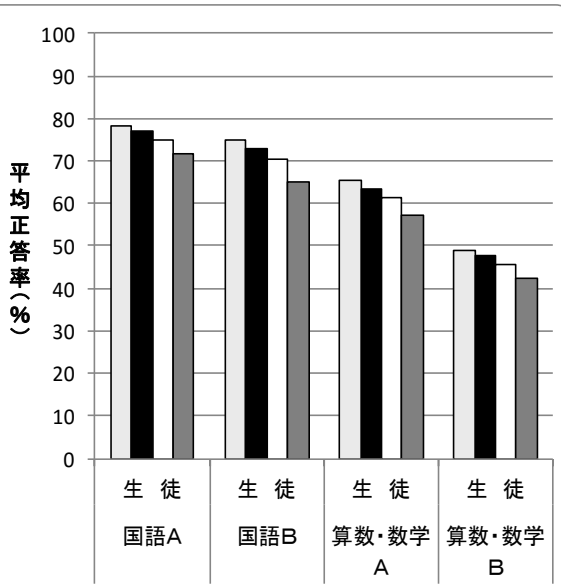
児 48 / 生 50　将来，外国へ留学したり，国際的な仕事に就いてみたりしたいと思いますか

【平成２９年度調査結果】



肯定的な回答の割合は，児童生徒ともに全国と比べてやや高い。肯定的な回答をしている生徒ほど，正答率が高い傾向がある。

【回答結果と正答率の関連】



自己肯定感に関する状況について

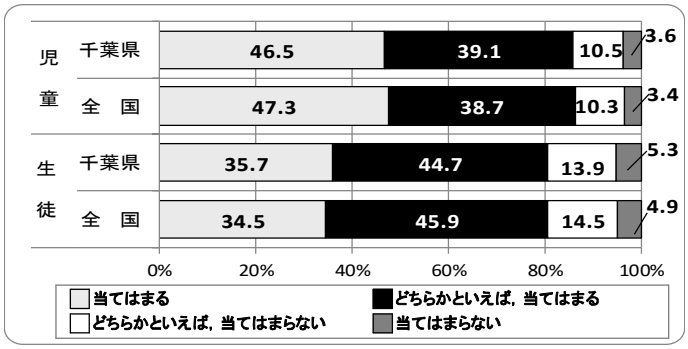
急速な社会の変化の中で，持続可能な社会の創り手となることができるよう，児童生徒一人一人の自己肯定感を育むことなどが求められ，次期学習指導要領にも明記された。今回の調査において，よいところを「認められている－認めている」の視点で見ると，全国では，児童生徒質問紙において，肯定的な回答が約7.5～９割であるのに対し，学校質問紙においてはすべて約９割を超えている状況であり，児童生徒の実感と学校のとらえ方には差がみられる。

本県では，学校質問紙の肯定的な回答の割合が，児童生徒質問紙を大きく上回っている。

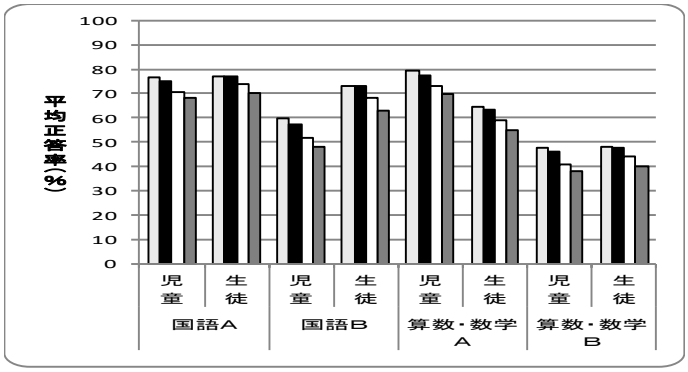
児童生徒質問紙調査から

児 38 生 40	先生は，あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

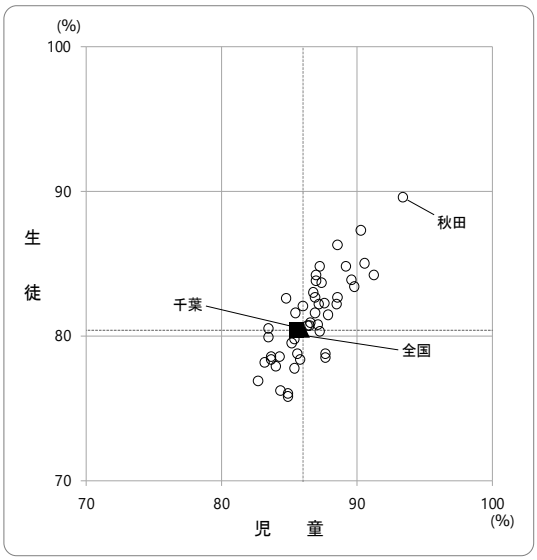
【平成２９年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



【散布図】

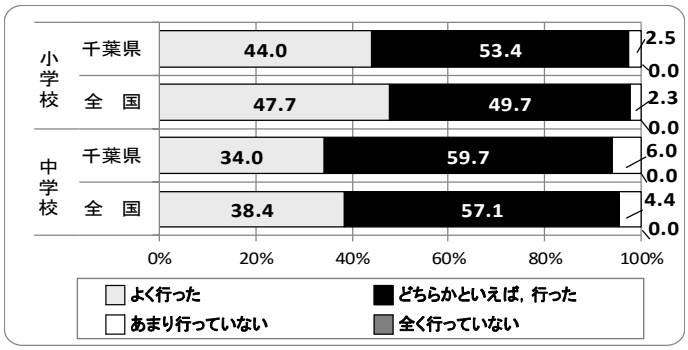


肯定的回答の割合は，全国と比べて同程度である。肯定的回答をしている児童生徒ほど，知識・活用ともに正答率が高い傾向がある。

学校質問紙調査から

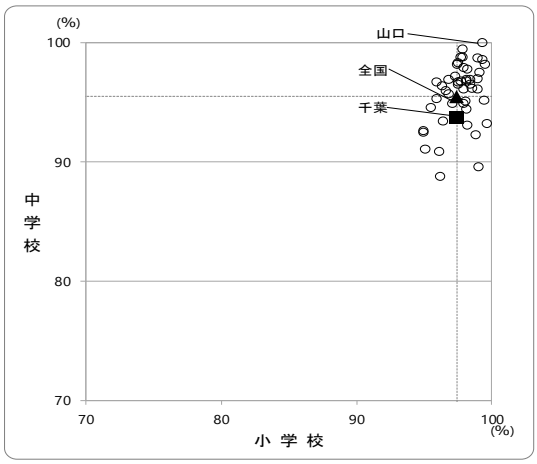
51	学校生活の中で，児童〔生徒〕一人一人のよい点や可能性を見付け，児童〔生徒〕に伝えるなど積極的に評価しましたか

【平成２９年度調査結果】



肯定的回答の割合は９割を超えている。全国と比べて小学校で同程度，中学校でやや低い。

【散布図】



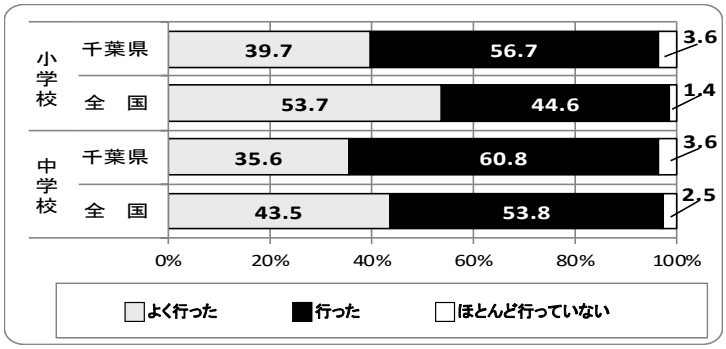
指導改善サイクルの確立を目指して

全国学力・学習状況調査の結果の活用に関しては，改善傾向にある。しかし，全国の状況とはまだ開きがある。調査結果を有効に活用するためには，各学校において調査結果を分析し，自校の成果と課題を明らかにし，課題を教員間で共有し，指導改善の方向性を明確にし，学校のみならず家庭や地域とも連携を図ることで指導改善サイクルを確立していくことが必要である。

質問番号		質　問　事　項	小学校(肯定的回答)			中学校(肯定的回答)		
小	中		千葉(%)	全国との差		千葉(%)	全国との差	
55	55	前年度の全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し，学校全体で成果や課題を共有しましたか	96.4	−1.9		96.4	−0.9	
56	56	前年度の全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について，調査対象学年・教科だけでなく，学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	92.1	−4.5		90.4	−4.0	
57	57	前年度の全国学力・学習状況調査の自校の結果について，保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか（学校のホームページや学校だより等への掲載，保護者会等での説明を含みます）	74.1	−16.7	▼	76.1	−10.7	▼
58	58	前年度の全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果を踏まえた学力向上のための取組について，保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか	75.3	−14.6	▼	74.8	−8.6	▼
59	59	全国学力・学習状況調査を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し，具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行いましたか	87.1	−6.4	▼	76.3	−13.8	▼

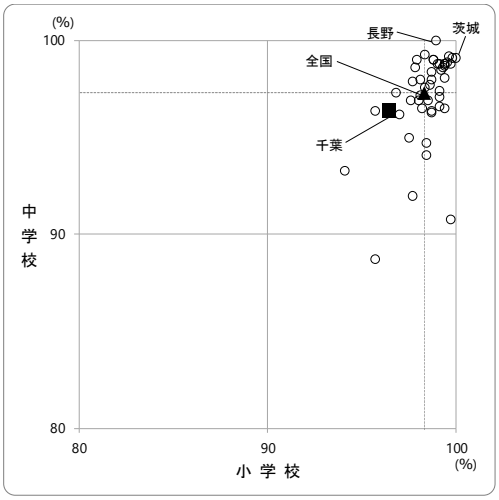
55　全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し，学校全体で成果や課題を共有しましたか

【平成２９年度調査結果】



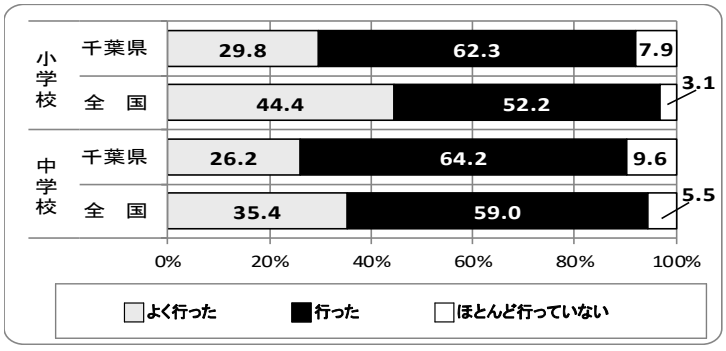
肯定的な回答の割合は，小中学校ともに９割を超えているが，全国に比べてやや低い。「よく行った」との回答の割合は，小学校で著しく低く，中学校で低い。

【散布図】



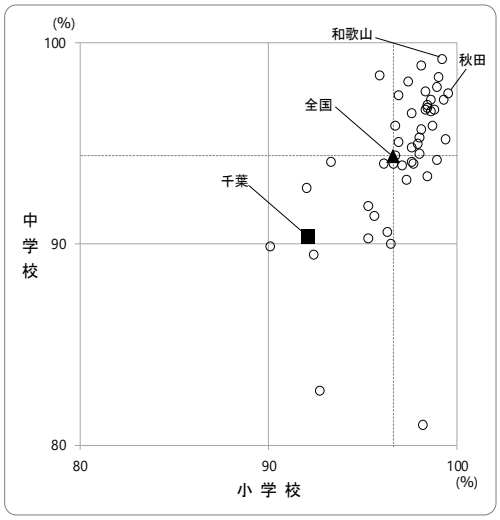
56　全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について，調査対象学年・教科だけではなく，学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか

【平成２９年度調査結果】



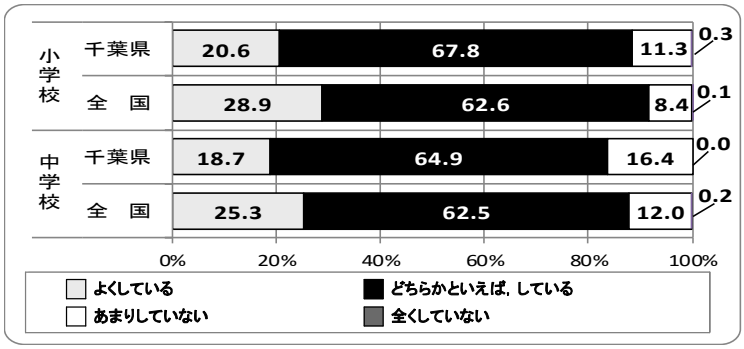
肯定的な回答の割合は，小中学校ともに９割を超え，かつ昨年度よりも向上しているが，全国に比べて小中学校ともに授業改善への活用が図られている割合がやや低い。

【散布図】



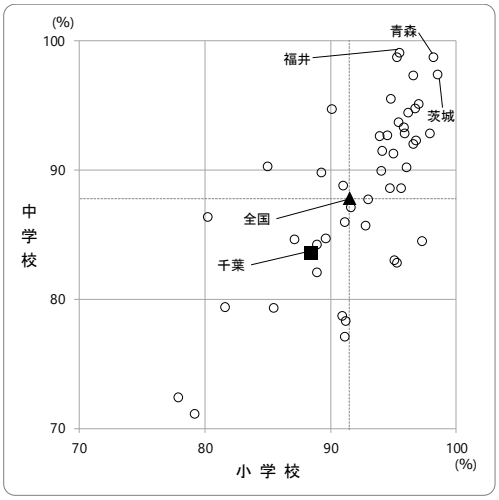
30	児童・生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき，教育課程を編成し，実施し，評価して改善を図る一連のＰＤＣＡサイクルを確立していますか

【平成２９年度調査結果】



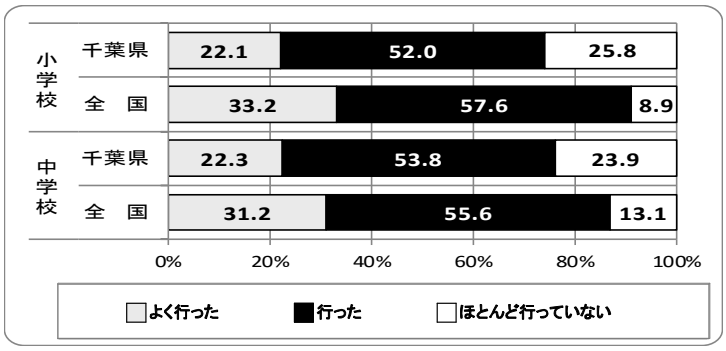
肯定的な回答の割合は，小中学校ともに８割以上であり，全国と比べて小中学校ともにやや低い。「よくしている」の回答は，小中学校ともに低い状況である。

【散布図】



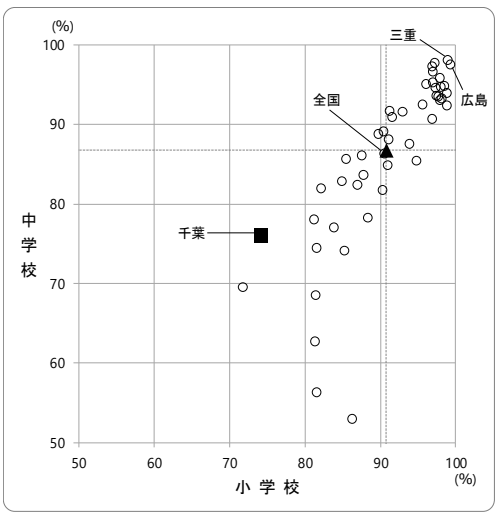
57	全国学力・学習状況調査の自校の結果について，保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか

【平成２９年度調査結果】



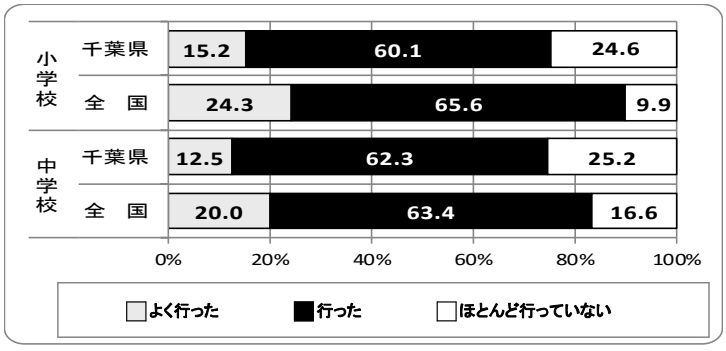
肯定的な回答の割合は，小中学校ともに全国に比べて著しく低い。約 2.5 割の小中学校がほとんど行っていない状況である。

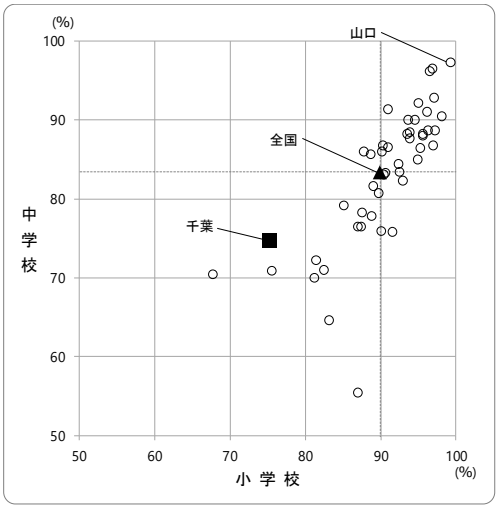
【散布図】



58	全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について，保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか

【平成２９年度調査結果】



肯定的な回答は，全国に比べて小学校は著しく低く，中学校は低い。約 2.5 割の小中学校がほとんど行っていない状況であり全国に比べて著しく低い。

【散布図】